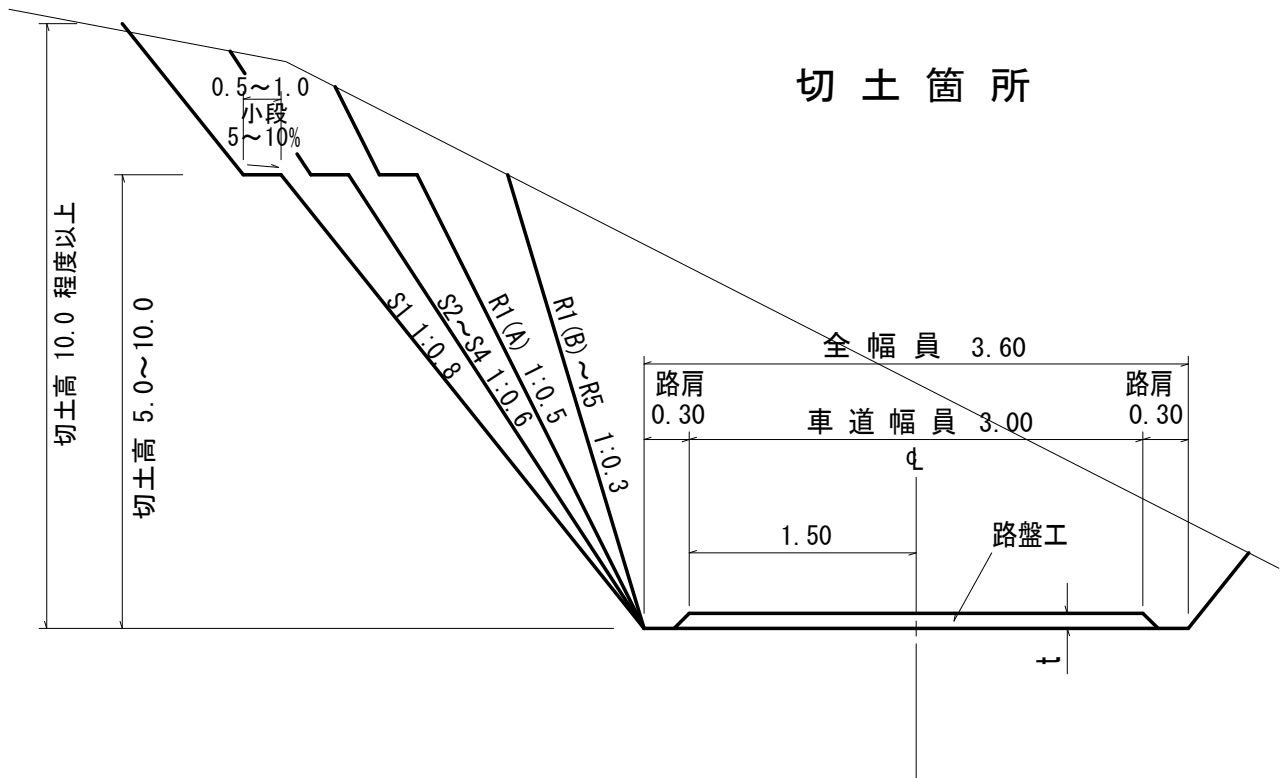
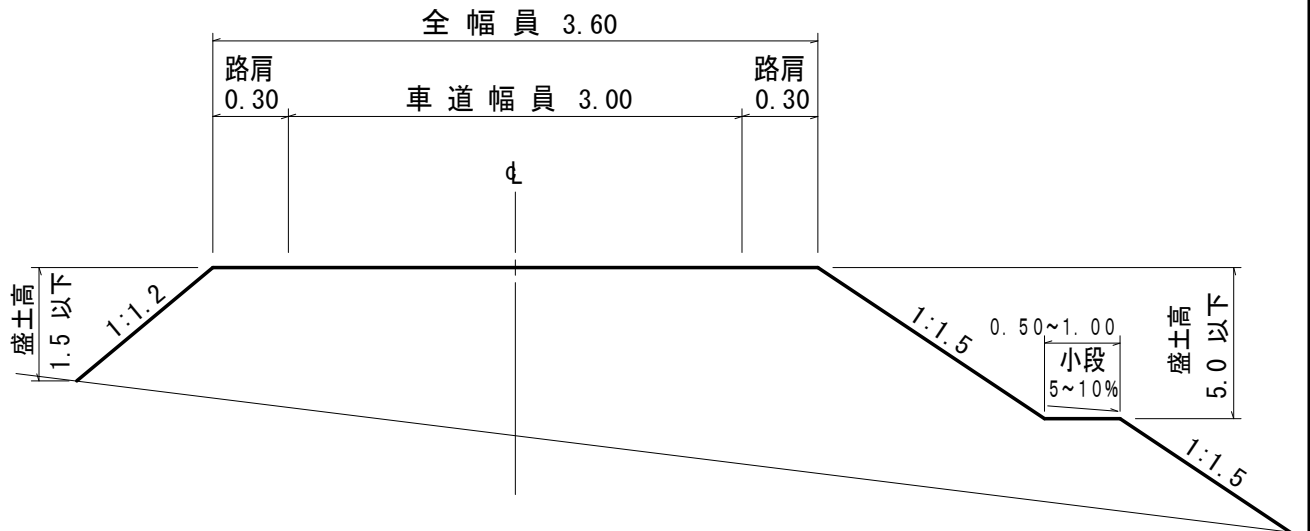


土工標準図

S=1:Free

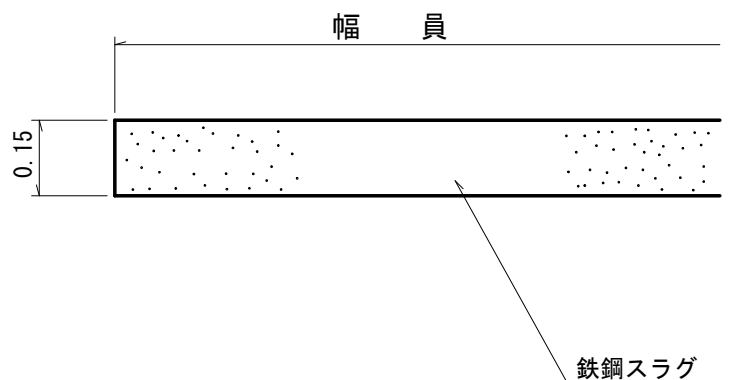


盛土箇所



註) 普通林の場合 10.0m 程度以下に限り 1 割 2 分にできる。

鉄鋼スラグ路盤工 標準図 S=1 : f r e e



材 料 表

100m² 当り

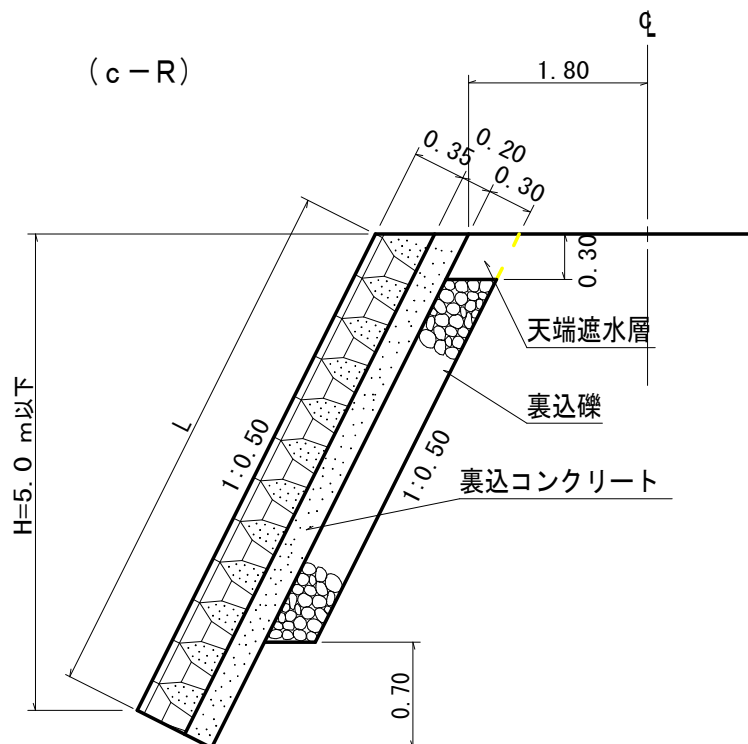
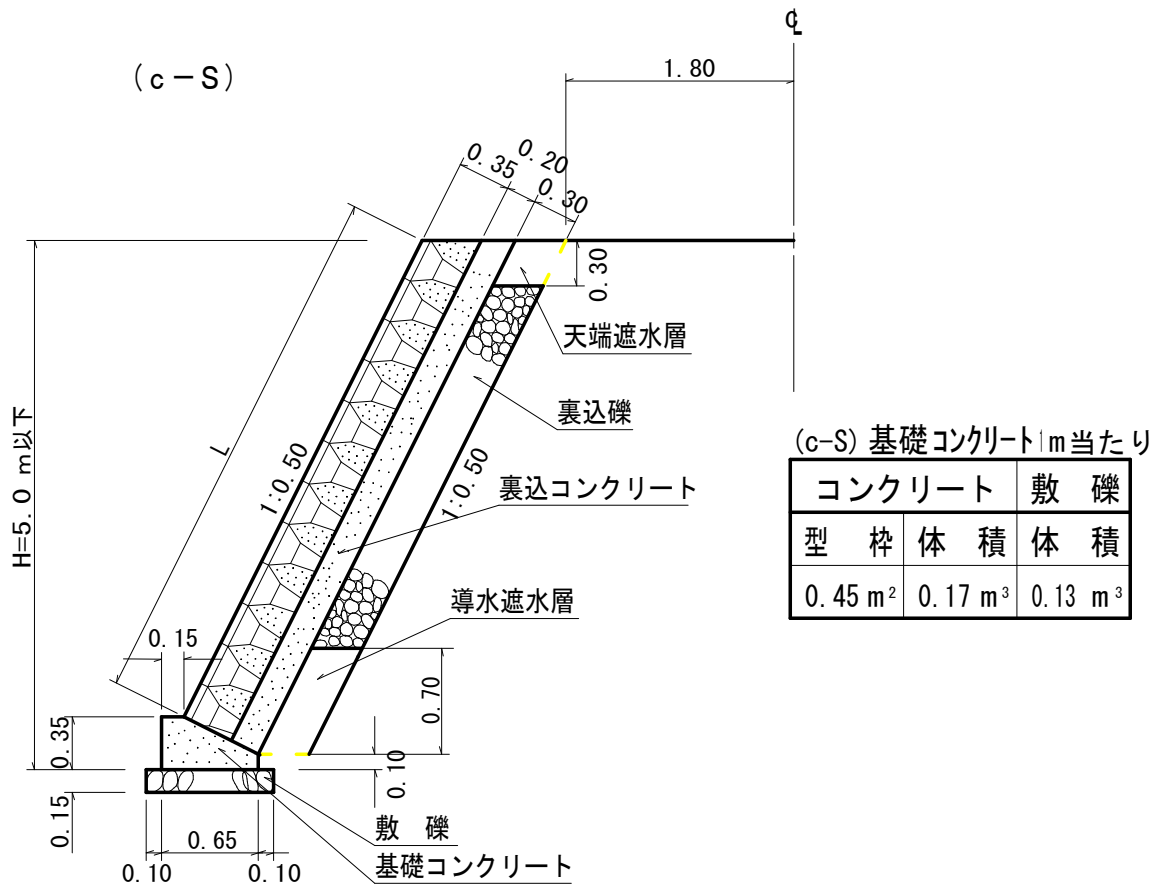
種 別	鉄鋼スラグ	基床材	型 枠	金 網	路盤紙	床掘
数 量	15.00m ³	m ³	m ³	m ²	m ²	15.00m ³

※路床が岩石の場合は、基床材は設けない。

盛留コンクリートブロック積工

S=1:50

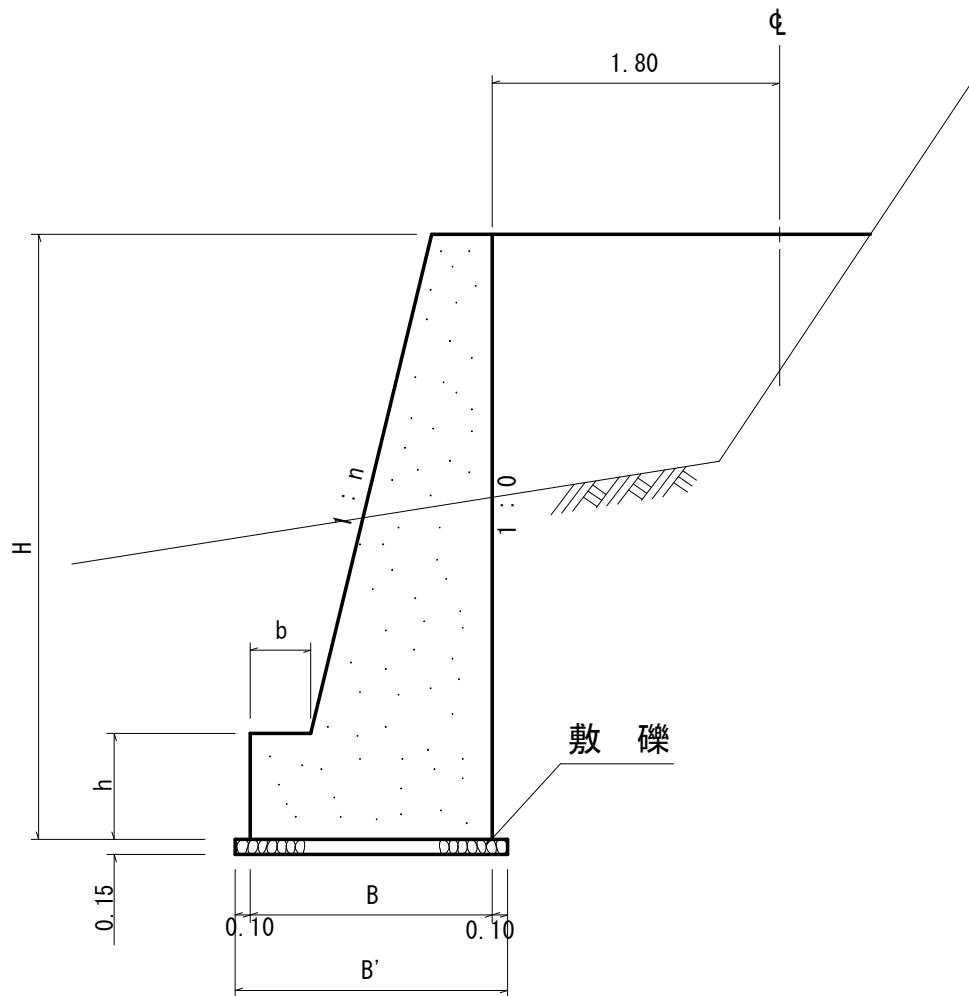
BW-L-N



重力式コンクリート擁壁工

S=1:free

GW-L-I



寸法表

設計区分 (c-S)

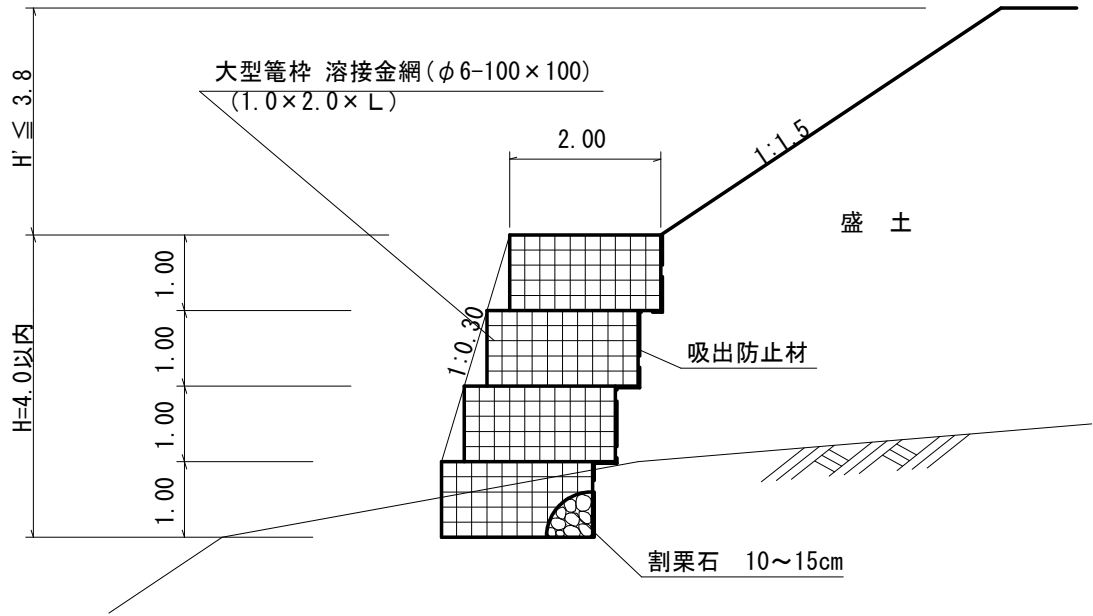
設計区分 (c-R)

H	n	B	b	h	B'	H	n	B	b	h
2.000	0.200	1.040	0.300	0.300	1.240	2.000	0.200	1.040	0.300	0.300
2.500	0.200	1.170	0.350	0.400	1.370	2.500	0.200	1.120	0.300	0.400
3.000	0.250	1.400	0.350	0.400	1.600	3.000	0.250	1.350	0.300	0.400
3.500	0.300	1.680	0.350	0.500	1.880	3.500	0.300	1.630	0.300	0.400
4.000	0.300	1.850	0.400	0.600	2.050	4.000	0.300	1.750	0.300	0.500
4.500	0.300	1.970	0.400	0.600	2.170	4.500	0.300	1.900	0.300	0.500
5.000	0.300	2.120	0.400	0.600	2.320	5.000	0.300	2.050	0.300	0.500
5.500	0.350	2.530	0.450	0.700	2.730	5.500	0.350	2.500	0.350	0.500
6.000	0.350	2.770	0.550	0.800	2.970	6.000	0.350	2.640	0.350	0.600
6.500	0.350	2.910	0.550	0.900	3.110	6.500	0.350	2.780	0.350	0.700
7.000	0.350	3.050	0.550	1.000	3.250	7.000	0.350	2.970	0.400	0.800
7.500	0.350	3.190	0.550	1.100	3.390	7.500	0.350	3.110	0.400	0.900
8.000	0.350	3.330	0.550	1.200	3.530	8.000	0.350	3.250	0.400	1.000

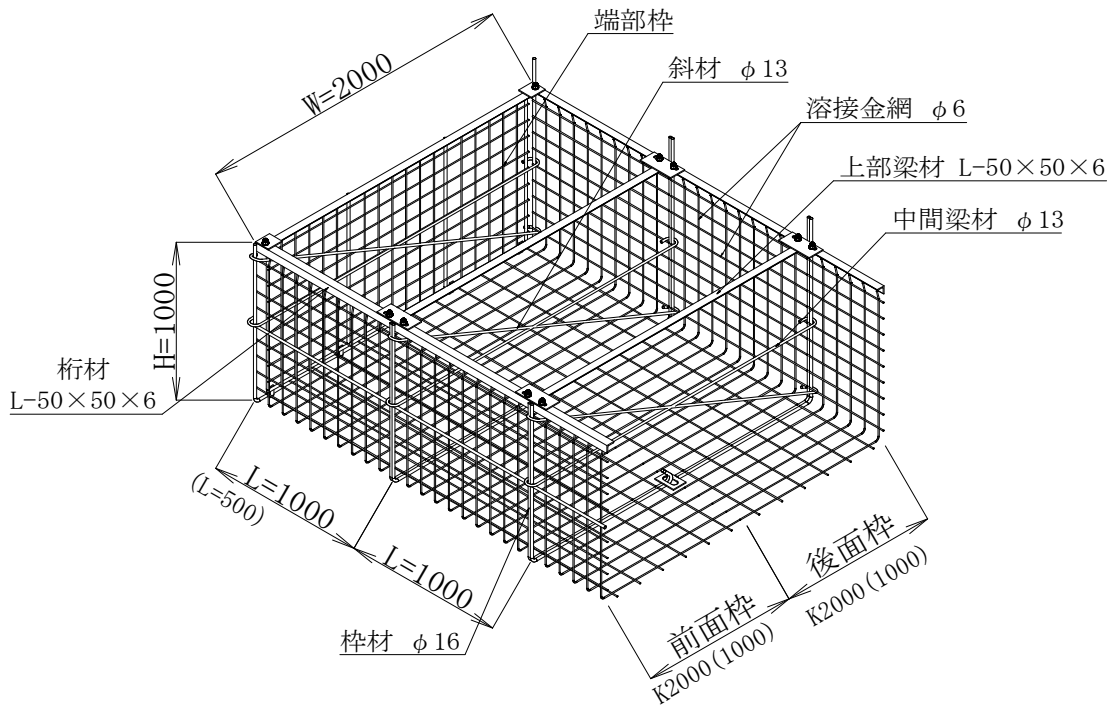
註) c-Rの場合は敷磔は設計しない。

大型籠枠工

側面図 S=1:100



組立図 S=1:50

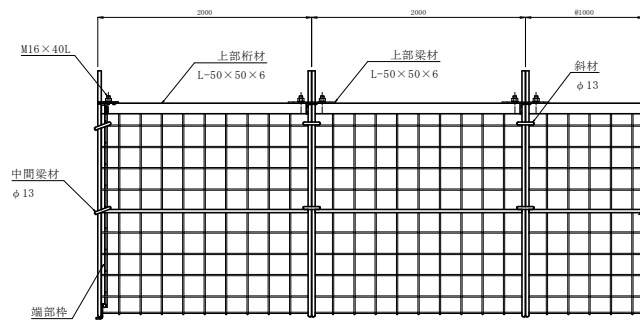


構造概要

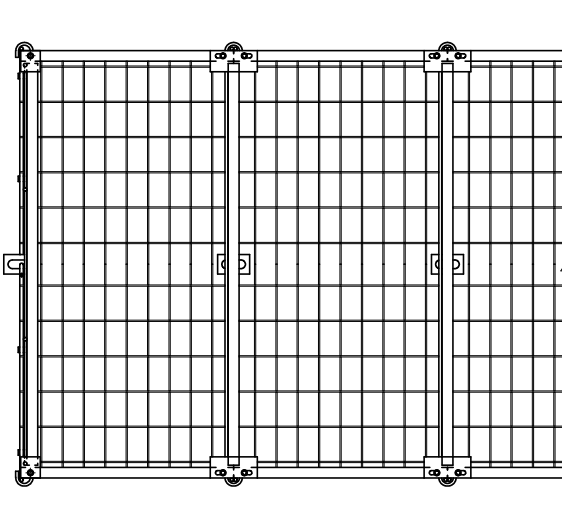
- ◎仕様 面材 : 溶接金見 φ6mm
枠材 : 棒鋼 φ16mm, 形鋼L-50×50×6
- ◎ボルト連結を除く枠の連結は、必ず枠材(φ16mm)を介して行うこと。
剛性の無い溶接金網(φ6mm)に直接連結しない。
- ◎コイルによる連結は、連結部の開き等が発生しやすいため行わない。

大型籠柵工

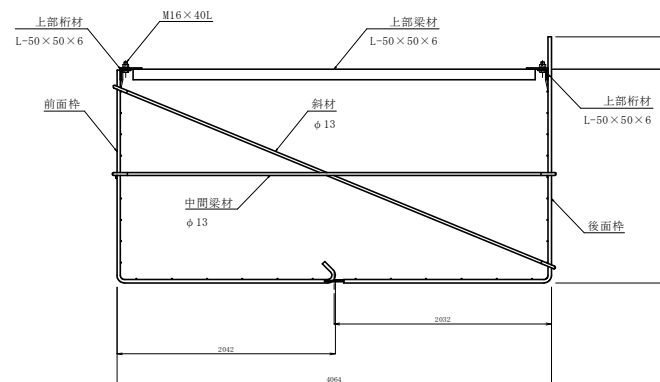
正面図 S=1/20



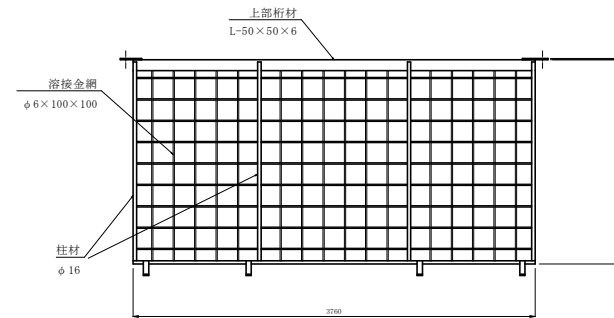
平面図 S=1/20



断面図 S=1/20



端部柱 S=1/20



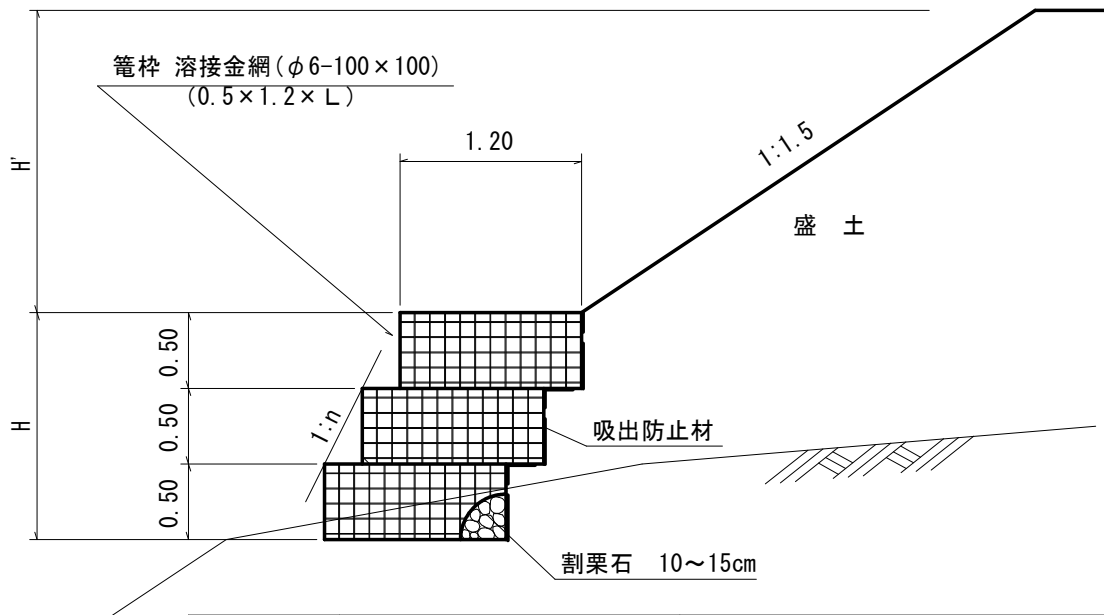
部材リスト (K2000型)

部 材 名	部材記号	寸 法 (mm)	質 量 (kg)
前面柱 (長さ×奥行×高さ)	F1010	1000×1000×1000	19.6
	F1005	500×1000×1000	12.8
後面柱 (長さ×奥行×高さ)	B1010	1000×1000×1000	19.6
	B1005	500×1000×1000	13.5
上 部 梁 材 (長さ)	H20	2000	10.4
中 間 梁 材 (φ径×長さ)	J20	φ13×2075	2.36
斜 材 (φ径×長さ)	S20	φ13×2235	2.52
端部柱 (奥行×高さ)	T20	2000×1000	25.5
ボルト・ナット (φ径×長さ)	B-1G	M16×40L	0.15

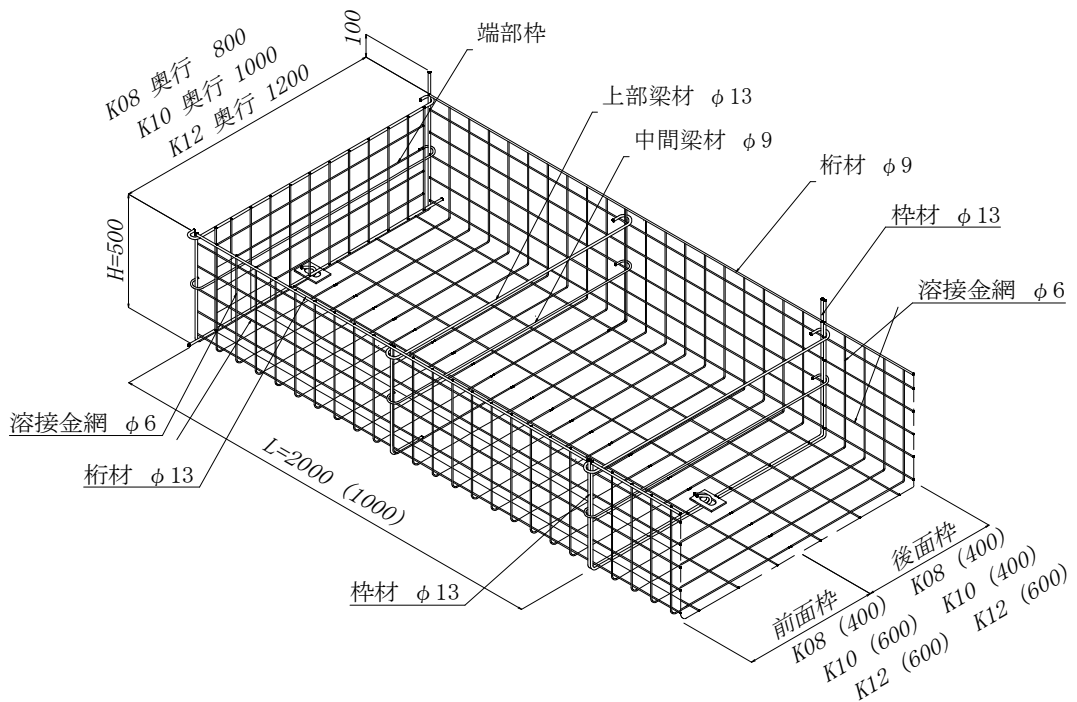
籠 柵 工

S = 1 : 50

側 面 図



法 勾 配	盛土高 (H') 2.0m 以下	盛土高 (H') 2.0m を超える場合
1 : 0.4	積高 (H) 2.0m 以下	積高 (H) 1.0m 以下
1 : 0.5	" 2.5m "	" 2.0m "
1 : 0.6	" 3.5m "	" 2.5m "



構造概要

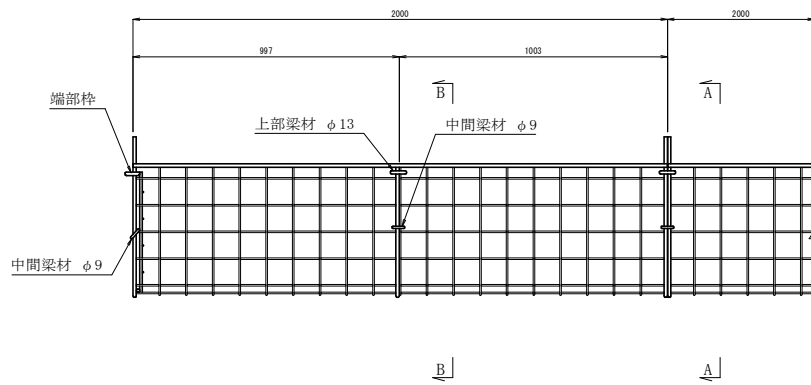
◎仕様 面材 : 溶接金見 φ6mm

柵材 : 棒鋼 φ13mm ~ φ16mm 程度

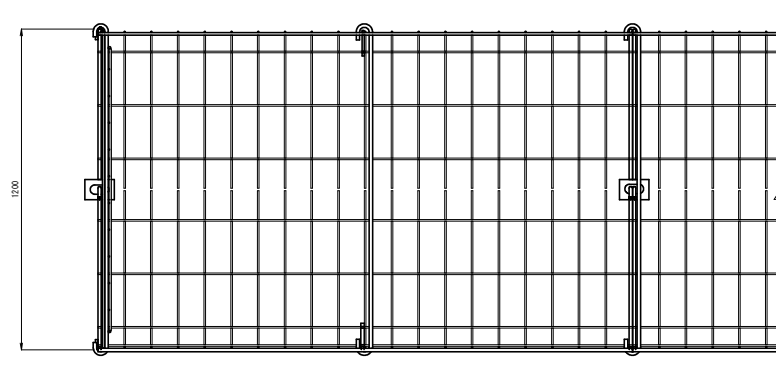
※ 『治山林道必携』 における 『かご柵工』 に該当

◎連結 : 剛性の無い溶接金網 (φ6mm) に直接連結しない。

正面図 S=1/20

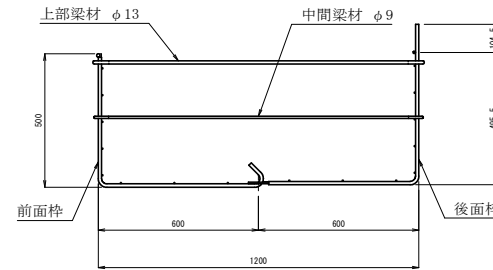


平面図 S=1/20

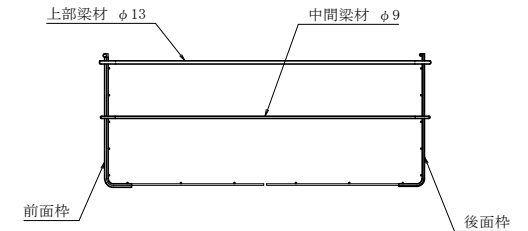


断面図 S=1/20

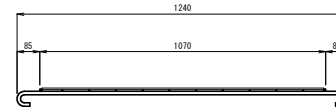
A-A矢視



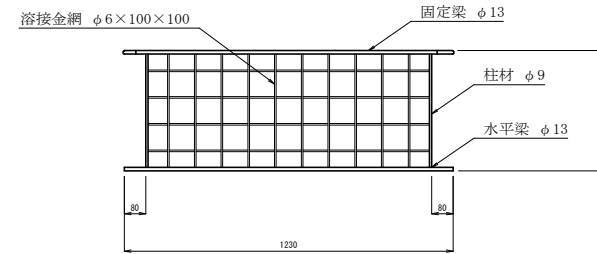
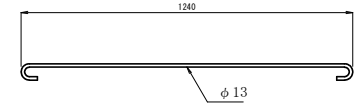
B-B矢視



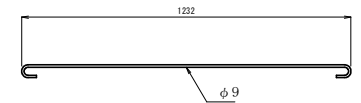
端部柱 S=1/20



上部梁材 S=1/20



中間梁材 S=1/20



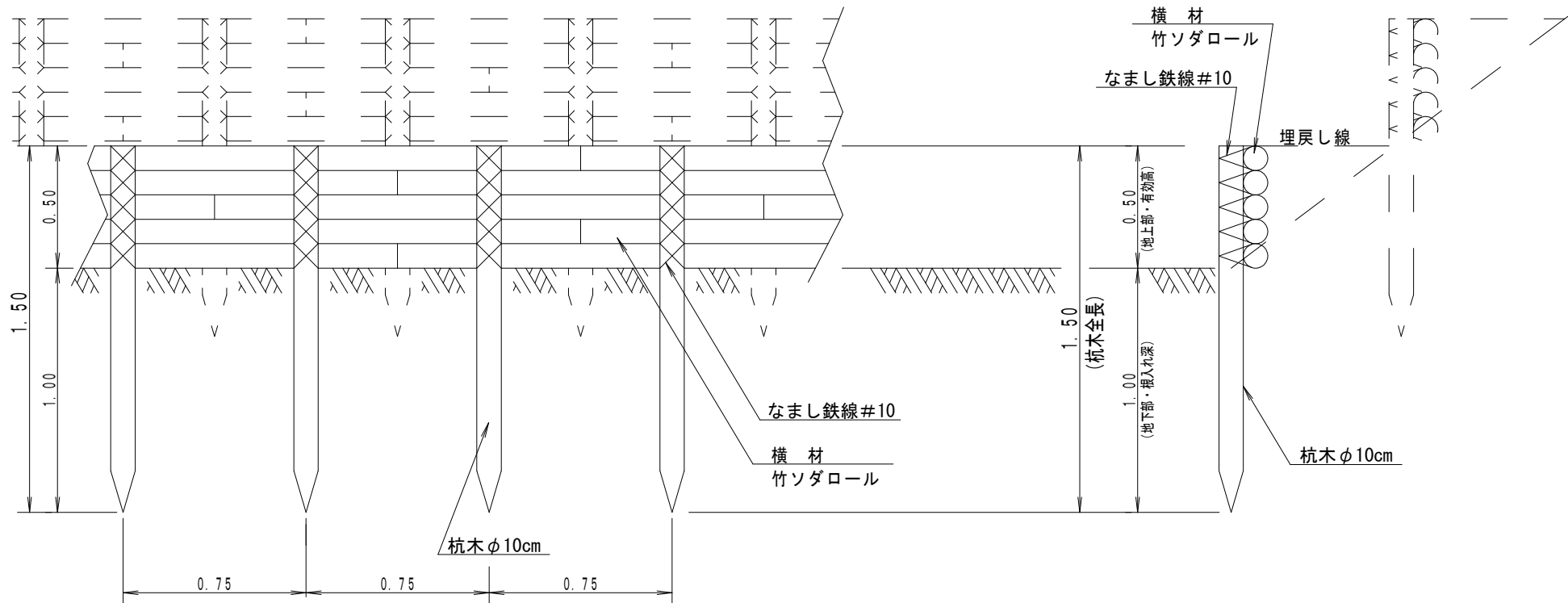
部材リスト (K12型)

部 材 名	部材記号	寸 法 (mm)	質 量 (kg)
前面柱 (長さ×奥行×高さ)	KF206	2000×600×500	13.1
	KF106	1000×600×500	7.36
後面柱 (長さ×奥行×高さ)	KB206	2000×600×500	12.5
	KB106	1000×600×500	7.54
端部柱 (奥行×高さ)	KE12	1240×450	5.07
上 部 梁 材 (φ径×長さ)	J12N	φ 13×1240	1.44
中 間 梁 材 (φ径×長さ)	B12N	φ 9×1232	0.68
植生シート (幅×長さ)	KS113	1000×1200	-

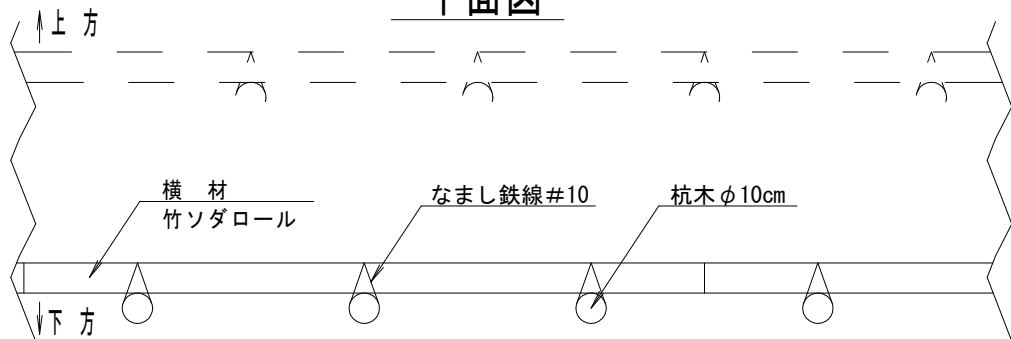
竹ソダ柵工標準図

正面図

側面図



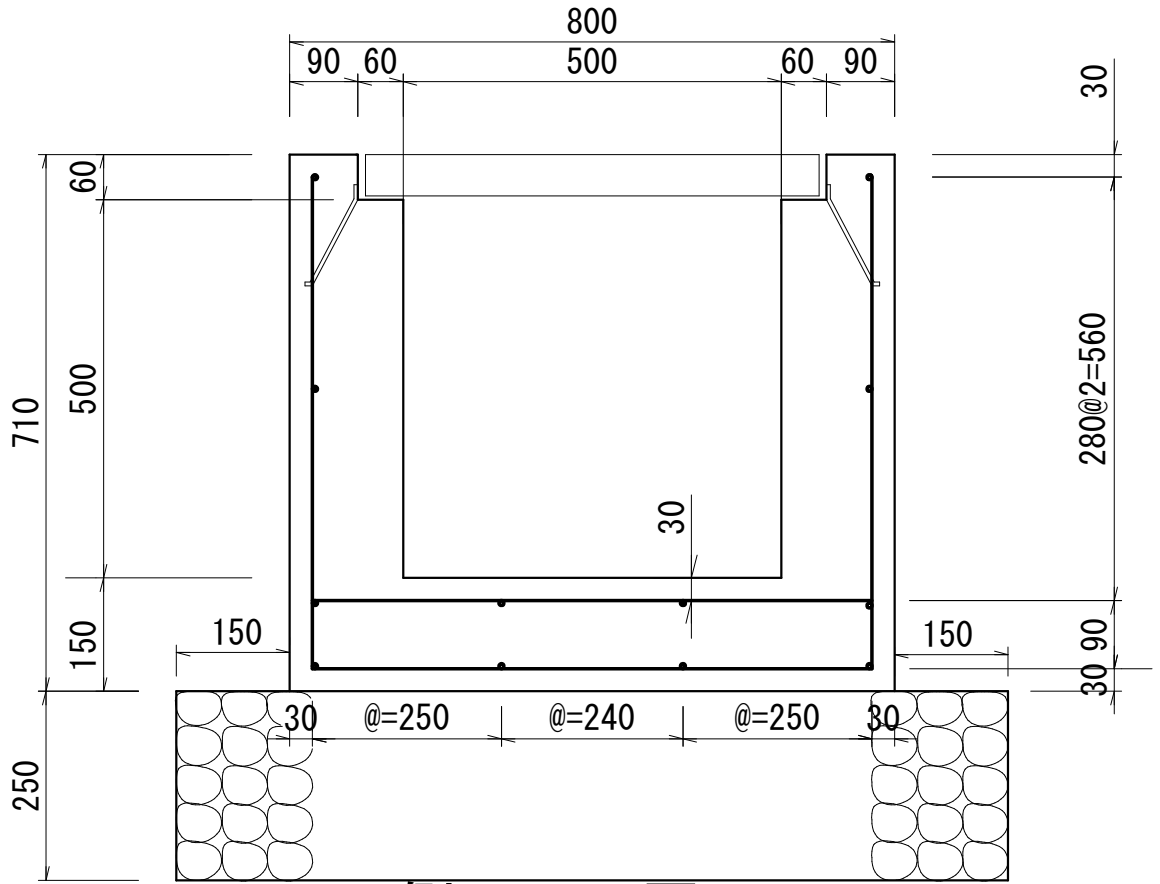
平面図



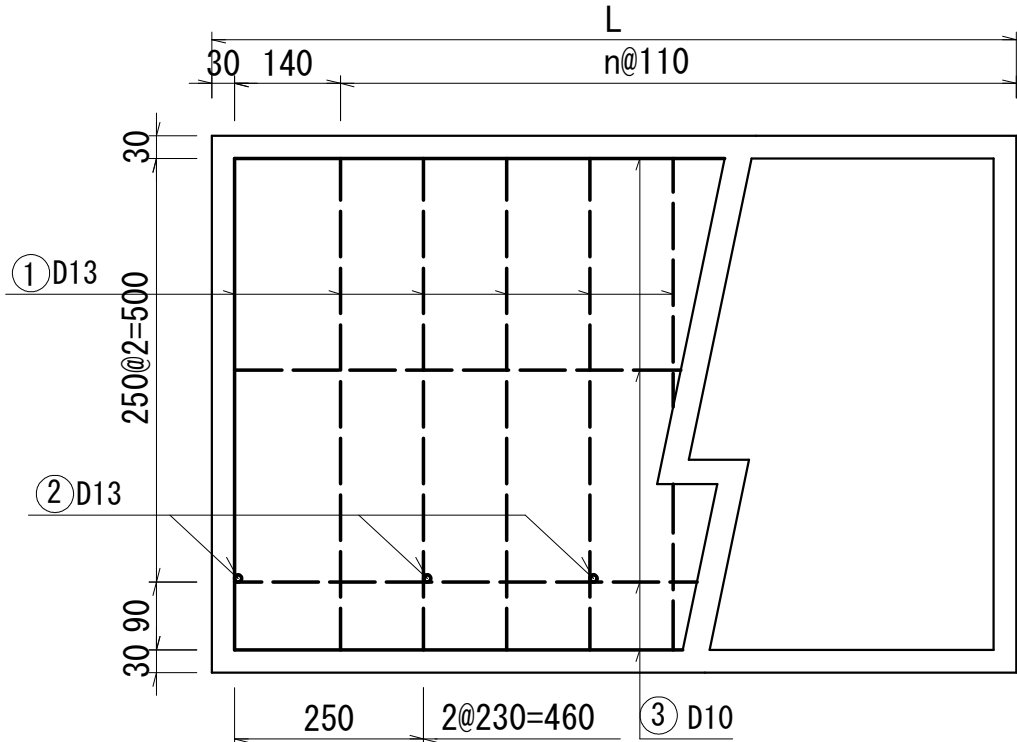
竹ソダ柵工 (5段積) 材料表		(延長10m当り)		
名称	規格	単位	数量	備考
横材 (竹ソダロール)	径φ0.10m×長さL2.25m	本	22.0	
杭木	末口径0.08m×長さ1.50m	本 (m^3)	13.3 (0.100)	10.0m/0.75m間隔=13.3本 0.04×0.04×3.14×1.50×13.3=0.100
なまし鉄線	#10 (二重締め)	kg	8.26	2.0m×6.6.6箇所=133.2m 133.2m×0.062kg/m=8.26kg

横断溝 (50×50)

断面図 S=1:10



側面図 S=1:10



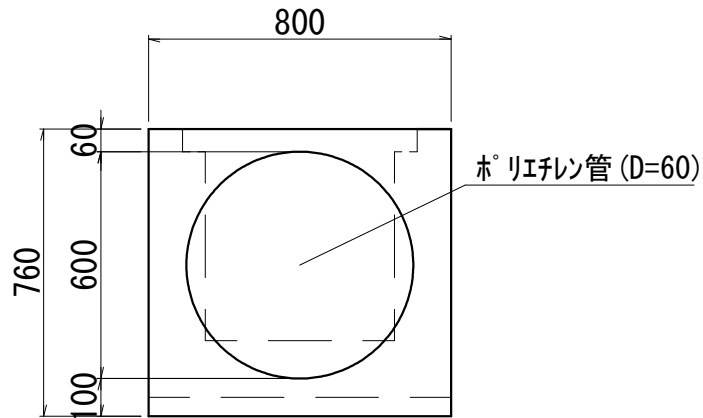
材料表

1m当り

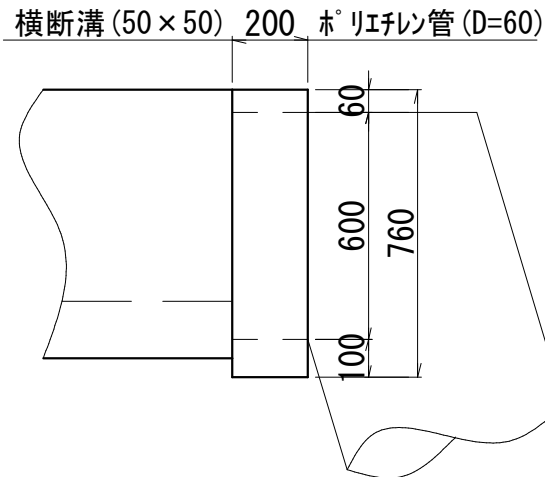
種別	コンクリート	基礎材	型枠	鉄筋	床掘
数量	0.281 m ³	0.28 m ³	2.54 m ²	28 kg	1.1 m ³

接続コンクリート

断面図 S=1:20



側面図 S=1:20



材料表

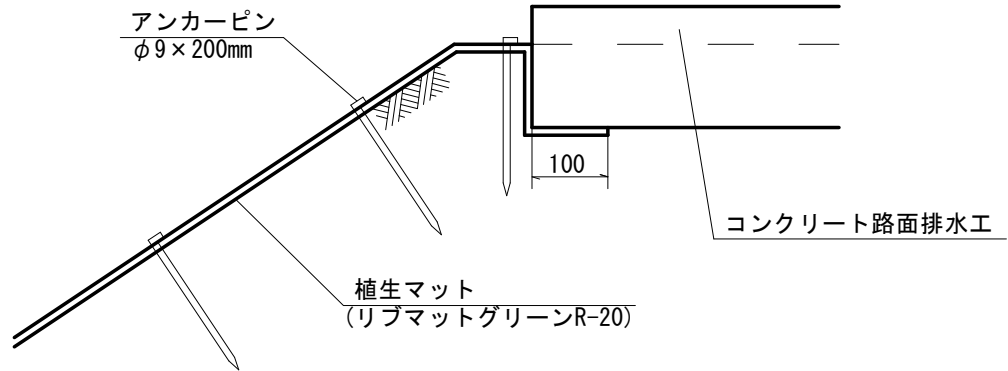
		1箇所当り
種別	コンクリート	型枠
数量	0.065 m ³	0.63 m ²

流末処理工標準図

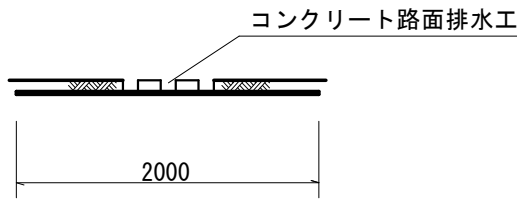
植生マット（横張り）

（単位mm）

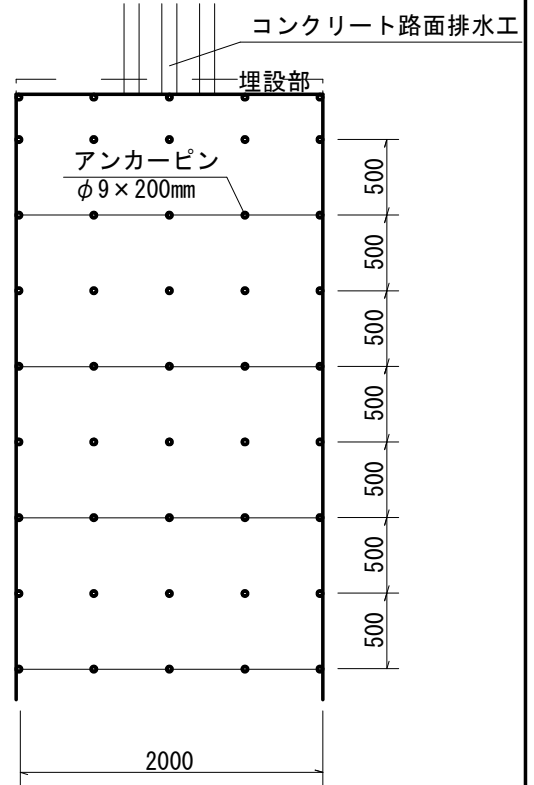
断面図 S = 1 : 10



断面図
S = 1 : 50



平面図
S = 1 : 50

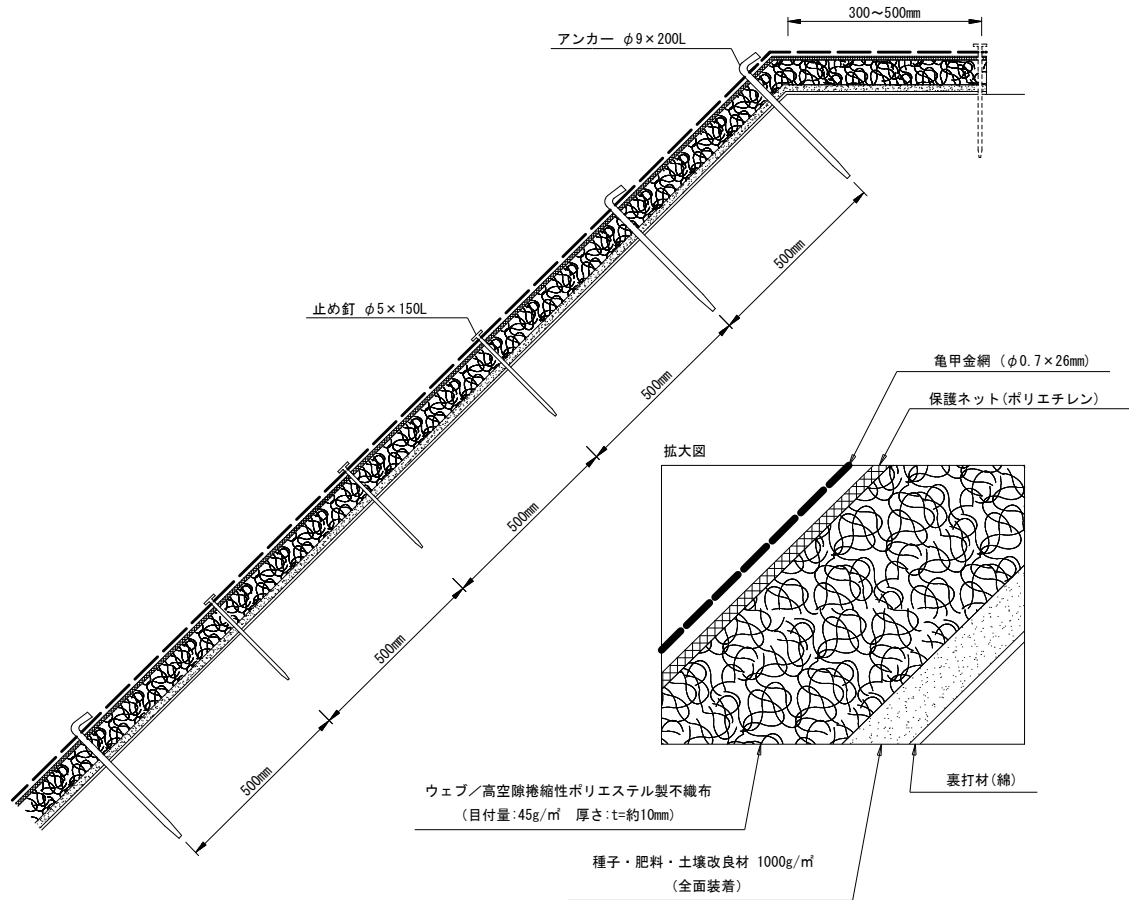


- ※現場状況に合わせて、アンカーピンの径・長さ・打設間隔を変更する。
- ※マットの重ねは客土部分で確保する。
横張：5cm程度
- ※路肩下部で流下水を導水する必要がある場合は、流下水が逸出しないよう、マット設置箇所に溝を設け導水する。

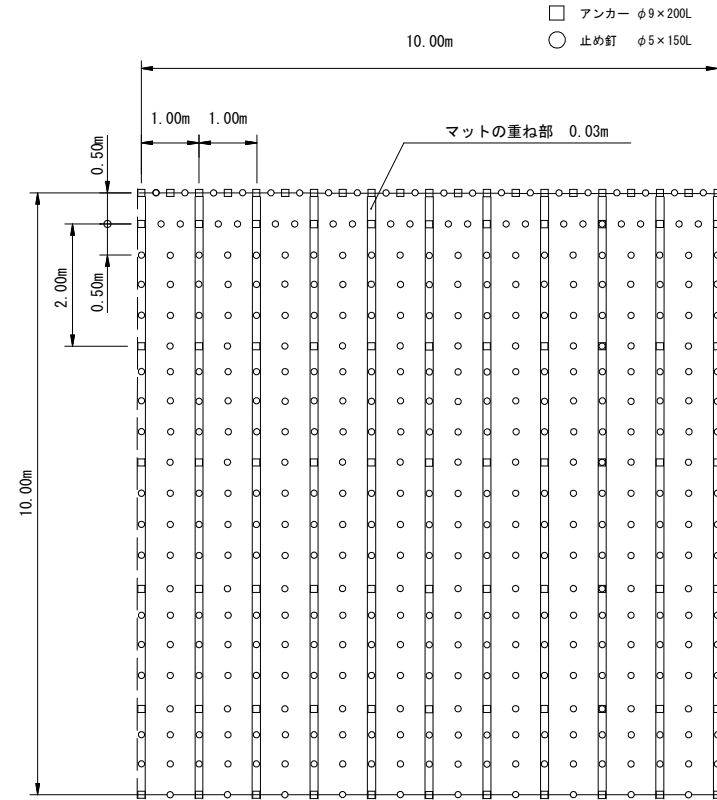


侵食防止用植生マット工(養生マット工) 多機能フィルター・MF-45R-10wn (種子指定：チカラシバ混入)

標準断面図



標準展開図



【備考】

1. アンカー・止め釘は、現地の起伏などの現況により増量して下さい。
2. アンカー・止め釘は、現場によって変更する事があります。
3. 法肩は30~50cm程度上に被せて下さい。

材料表 (100㎡当り)

品名	規格	数量	単位	備考
MF-45R-10wn	W=1.0m L=10.0m	120	㎡	割増率20%
アンカー	φ9×200L	87	本	—
止め釘	φ5×150L	384	本	—

規格

製品規格		ウェブ				裏打材	保護ネット		亀甲金網
巾	長さ	材質	色	目付量	厚さ	材質	材質	色	材質
1.0m	10.0m	ポリエステル	薄茶	45g/㎡	t=約10mm	綿	ポリエチレン	ダークグリーン	亜鉛メッキ鉄線

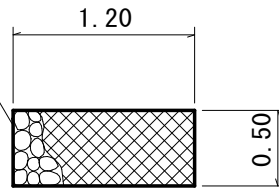
ふ と ん か ご 工

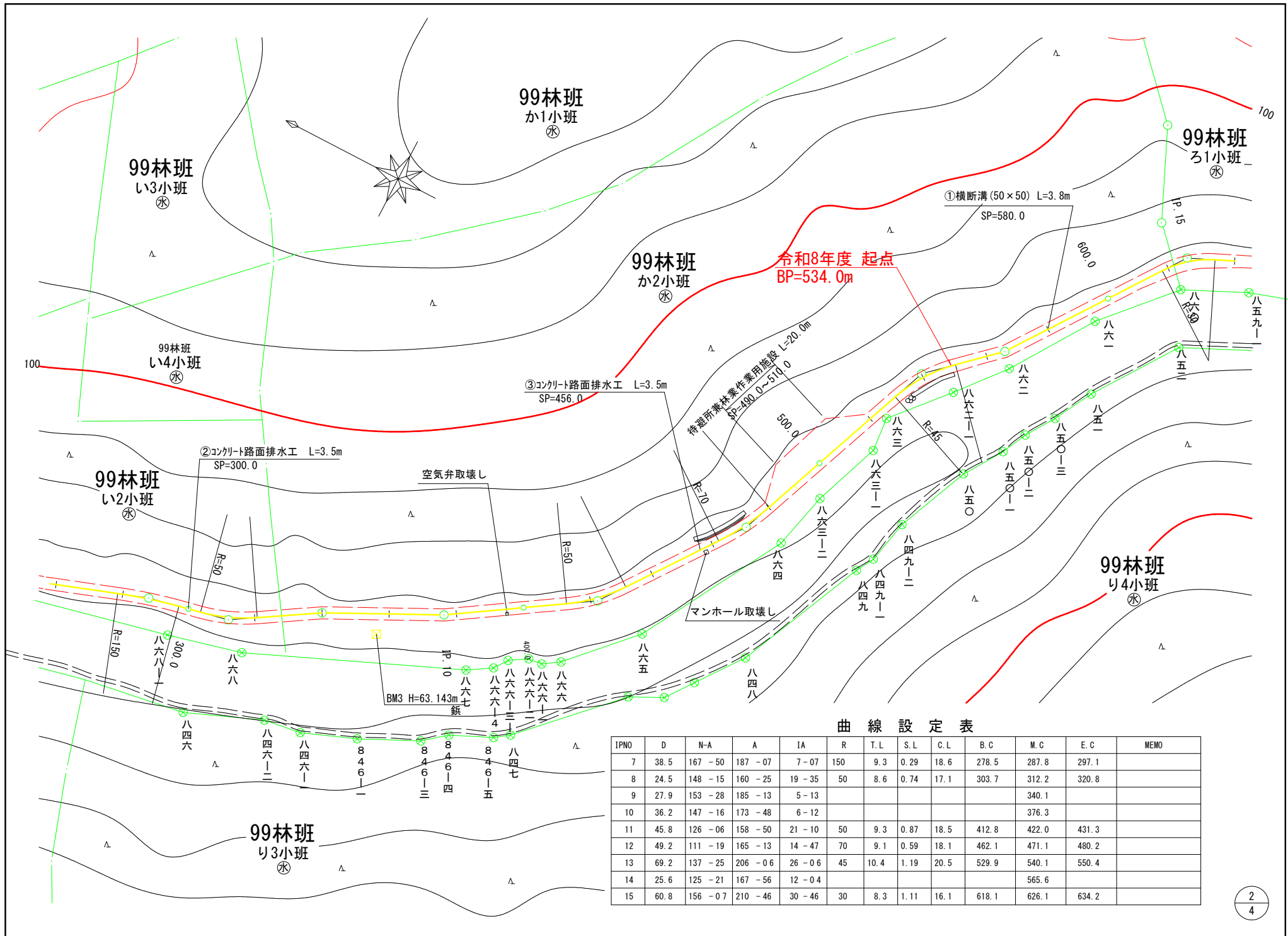
S=1:50

側 面 図

水叩用ふとんかご
網目13cm φ4.0

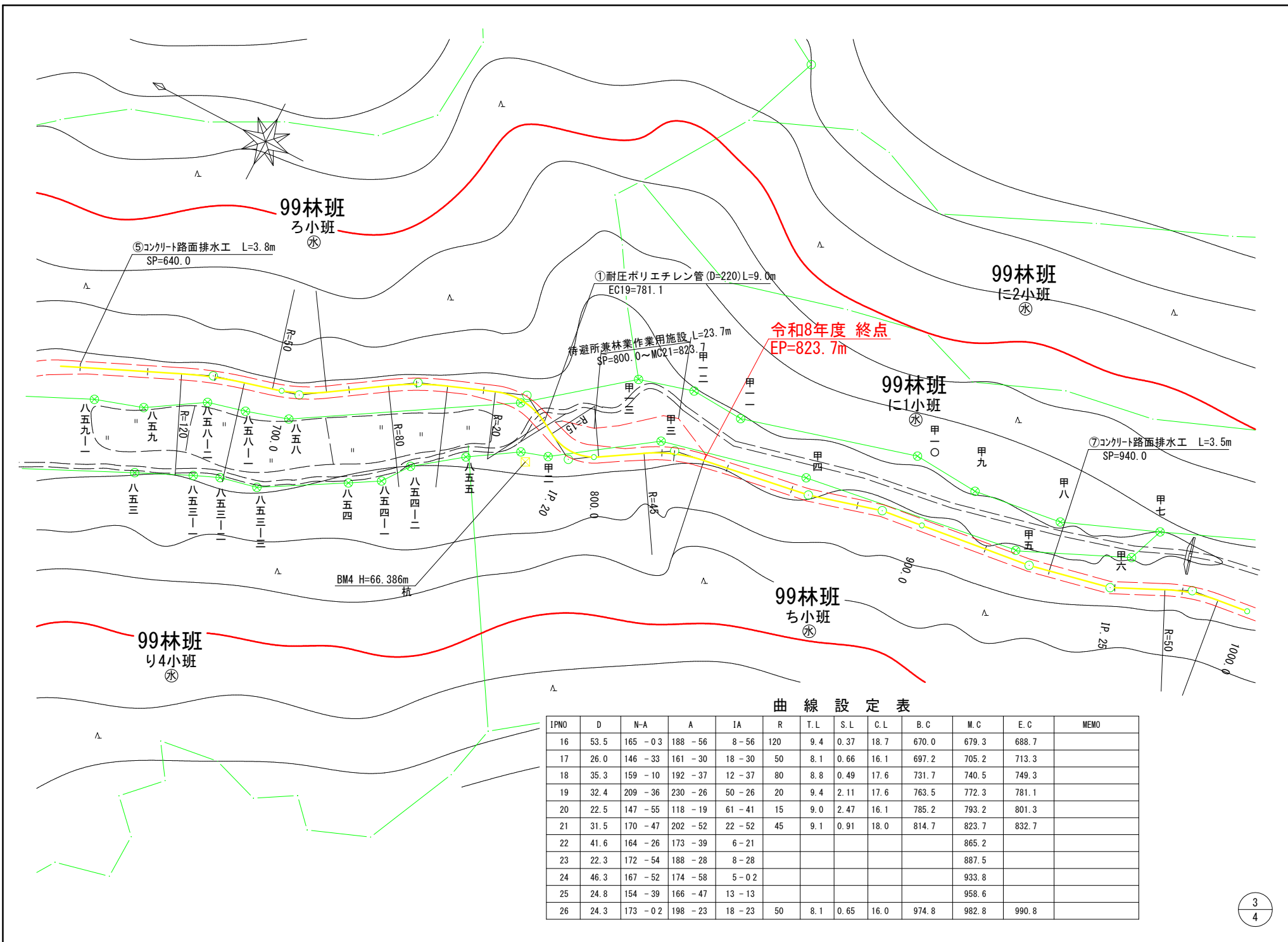
(0.5×1.2×L)





曲線設定表

IPNO	D	N-A	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	MEMO
7	38.5	167 - 50	187 - 07	7 - 07	150	9.3	0.29	18.6	278.5	287.8	297.1	
8	24.5	148 - 15	160 - 25	19 - 35	50	8.6	0.74	17.1	303.7	312.2	320.8	
9	27.9	153 - 28	185 - 13	5 - 13						340.1		
10	36.2	147 - 16	173 - 48	6 - 12						376.3		
11	45.8	126 - 06	158 - 50	21 - 10	50	9.3	0.87	18.5	412.8	422.0	431.3	
12	49.2	111 - 19	165 - 13	14 - 47	70	9.1	0.59	18.1	462.1	471.1	480.2	
13	69.2	137 - 25	206 - 06	26 - 06	45	10.4	1.19	20.5	529.9	540.1	550.4	
14	25.6	125 - 21	167 - 56	12 - 04						565.6		
15	60.8	156 - 07	210 - 46	30 - 46	30	8.3	1.11	16.1	618.1	626.1	634.2	

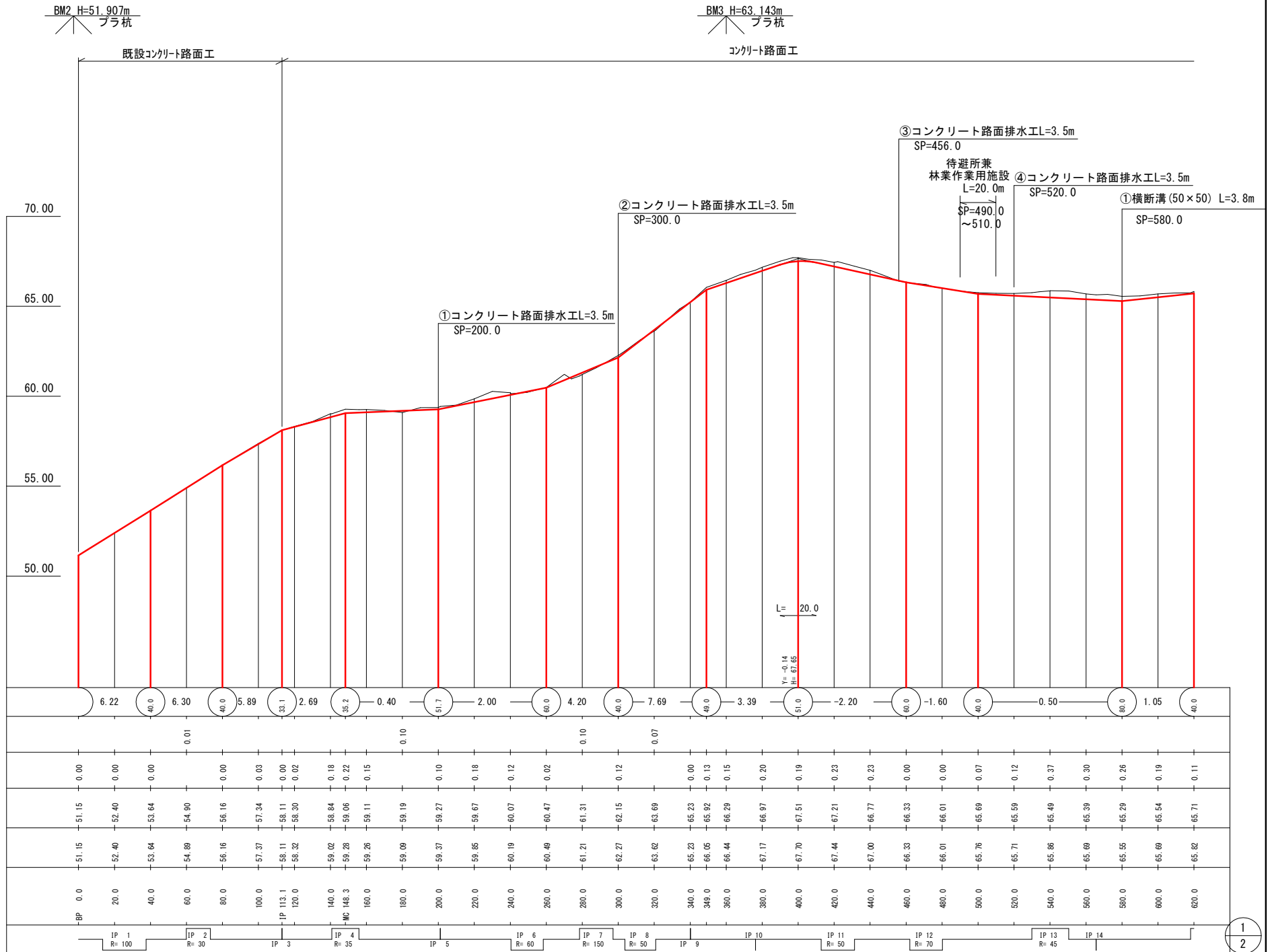


曲線設定表

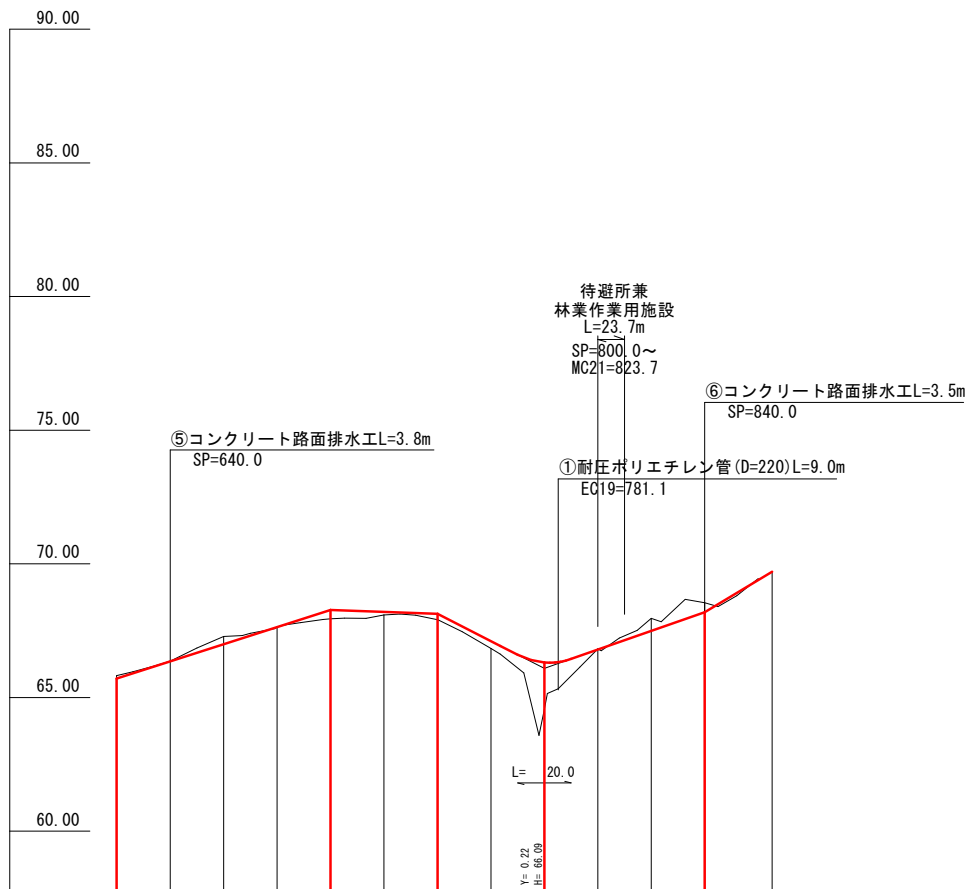
IPNO	D	N-A	A	IA	R	T.L	S.L	C.L	B.C	M.C	E.C	MEMO
16	53.5	165 - 0.3	188 - 56	8 - 56	120	9.4	0.37	18.7	670.0	679.3	688.7	
17	26.0	146 - 33	161 - 30	18 - 30	50	8.1	0.66	16.1	697.2	705.2	713.3	
18	35.3	159 - 10	192 - 37	12 - 37	80	8.8	0.49	17.6	731.7	740.5	749.3	
19	32.4	209 - 36	230 - 26	50 - 26	20	9.4	2.11	17.6	763.5	772.3	781.1	
20	22.5	147 - 55	118 - 19	61 - 41	15	9.0	2.47	16.1	785.2	793.2	801.3	
21	31.5	170 - 47	202 - 52	22 - 52	45	9.1	0.91	18.0	814.7	823.7	832.7	
22	41.6	164 - 26	173 - 39	6 - 21						865.2		
23	22.3	172 - 54	188 - 28	8 - 28						887.5		
24	46.3	167 - 52	174 - 58	5 - 0.2						933.8		
25	24.8	154 - 39	166 - 47	13 - 13						958.6		
26	24.3	173 - 0.2	198 - 23	18 - 23	50	8.1	0.65	16.0	974.8	982.8	990.8	

縦断面図縮尺

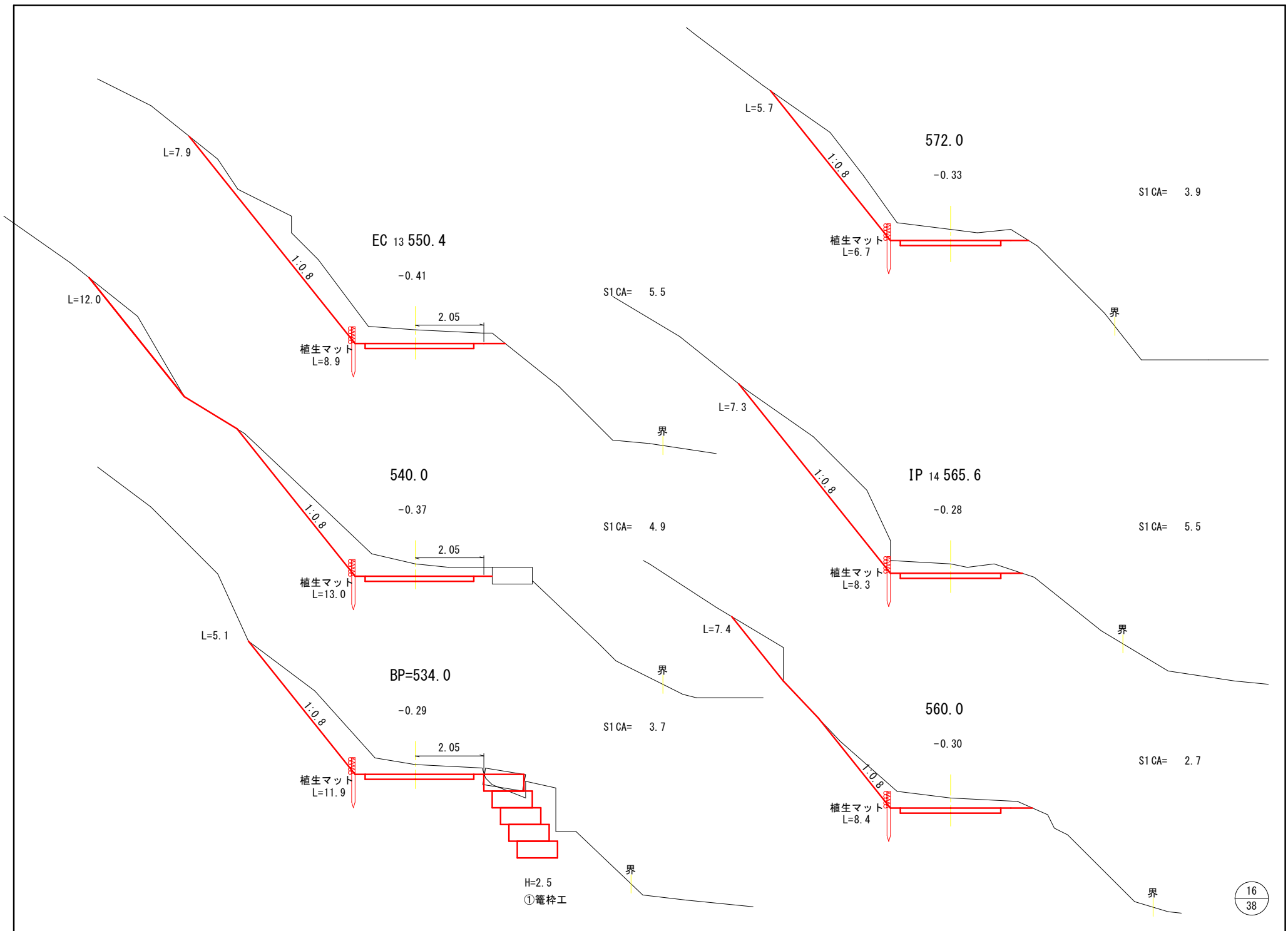
縦横
二〇〇分の一
二〇〇分の一

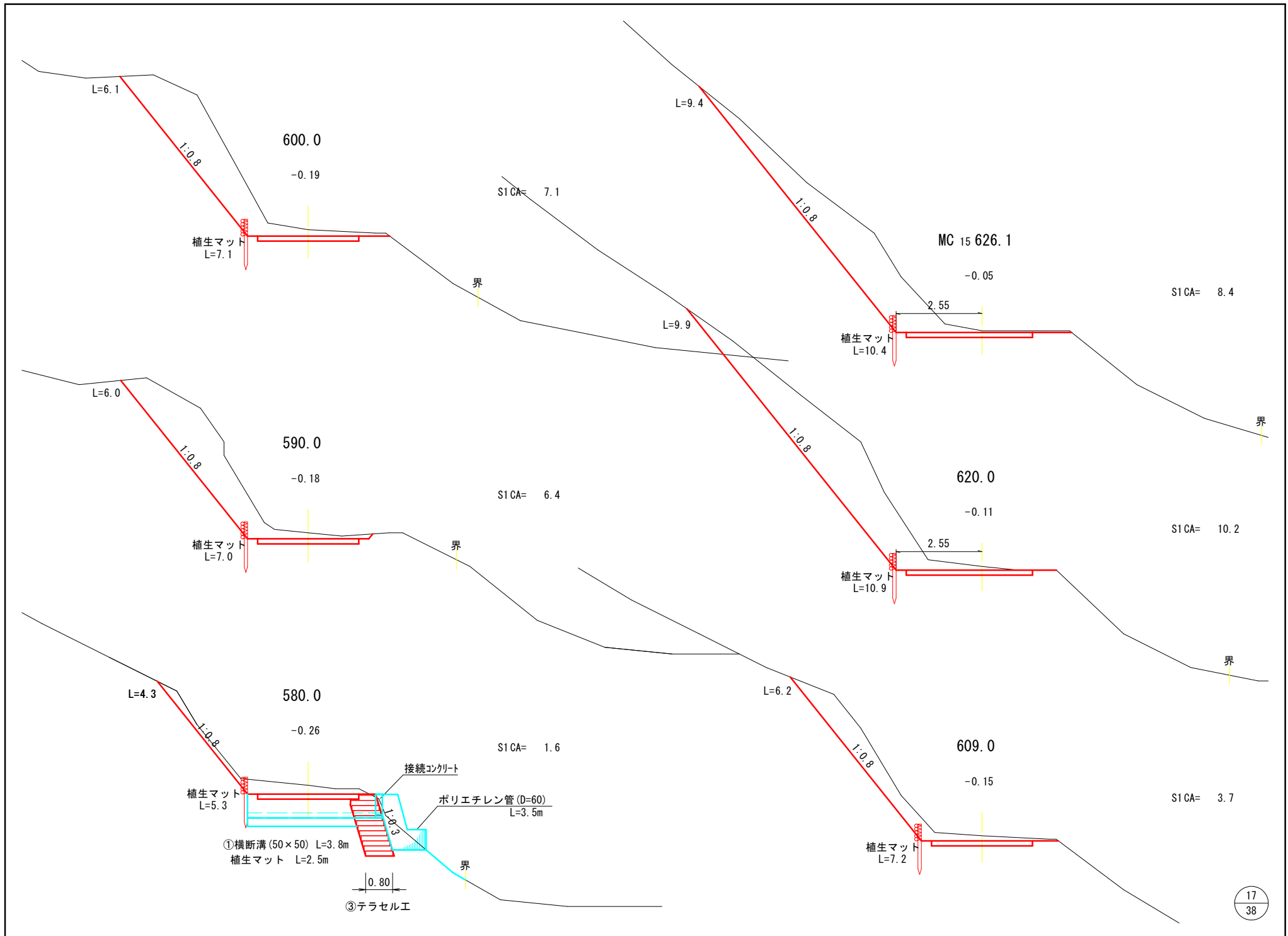


BM4 H=66.386m



勾配	40.0	3.20	40.0	-0.35	40.0	-5.10	40.0	3.50	40.0	6.00
盛土高			0.33	0.11	0.22	0.28	1.75			
切土高	0.11	0.01	0.29	0.01				0.03	0.47	0.35
施工基面高	65.71	66.41	67.03	67.65	68.27	68.20	68.13	67.11	66.31	66.79
地盤高	65.92	66.36	67.28	67.64	67.94	68.09	67.91	66.93	64.56	66.92
測点	620.0	640.0	660.0	680.0	700.0	720.0	740.0	760.0	780.0	800.0
曲線	IP 15 R= 30	IP 16 R= 120	IP 17 R= 50	IP 18 R= 80	IP 19 R= 20	IP 20 R= 15	IP 21 R= 45			





L=5.0

650.0

-0.18

S1CA= 4.1

植生マット
L=6.0

L=7.7

BC 16 670.0

-0.09

S1CA= 3.9

植生マット
L=8.7

L=5.9

640.0

-0.01

S1CA= 3.3

植生マット
L=6.9

2.10

⑤コンクリート路面排水工 L=3.8m
植生マットB L=6.0m

L=7.1

667.0

-0.11

S1CA= 4.1

植生マット
L=8.1

L=7.9

EC 15 634.2

-0.02

S1CA= 4.7

植生マット
L=8.9

2.55

L=5.6

660.0

-0.29

S1CA= 2.9

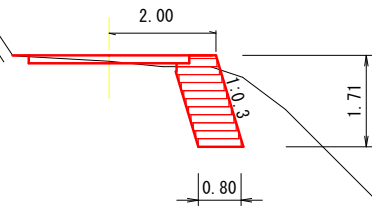
植生マット
L=6.6

界

EC 16 688.7

+0.11

S1 CA= 0.0

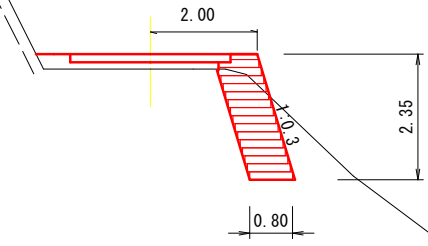


MC 17 705.2

+0.28

S1 CA= 0.0
BA= 0.5

既設法枠

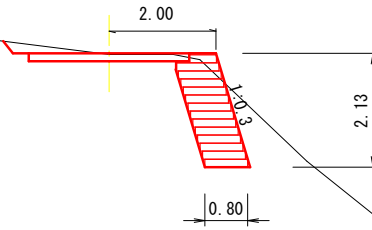


683.0

+0.02

S1 CA= 0.2

既設法枠

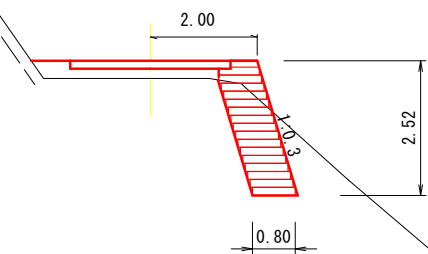


700.0

+0.33

BA= 0.7

既設法枠



L=11.6

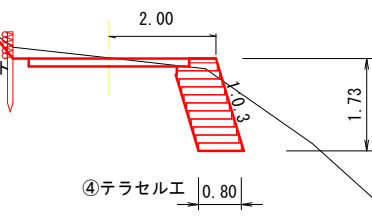
1:0.8

680.0

-0.01

S1 CA= 4.3

植生マット
L=12.6

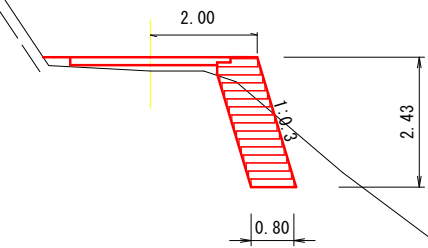


BC 17 697.2

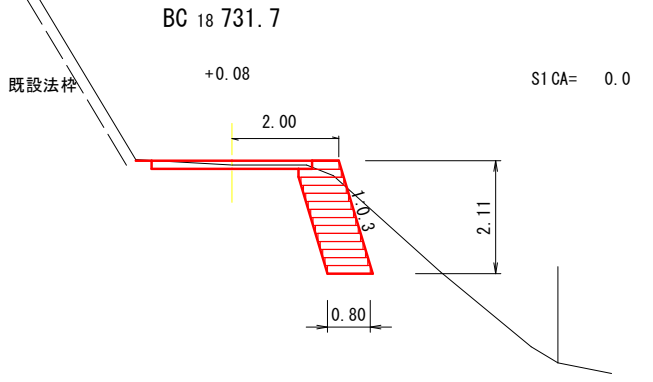
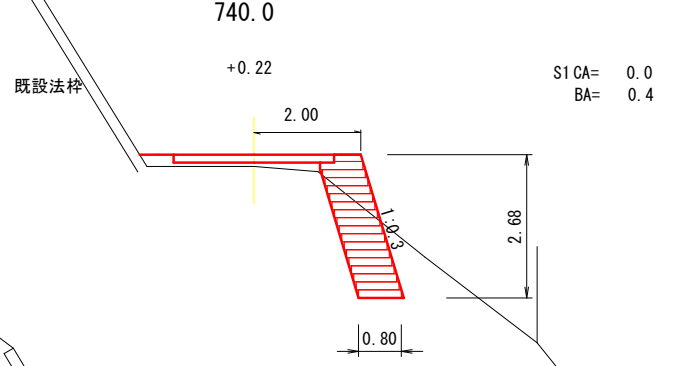
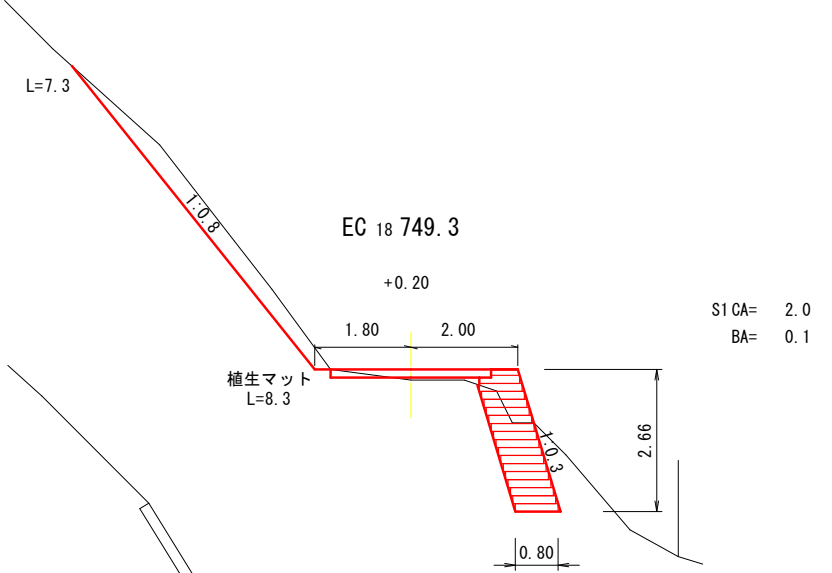
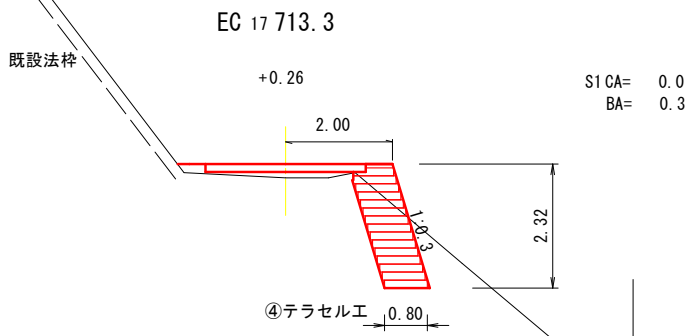
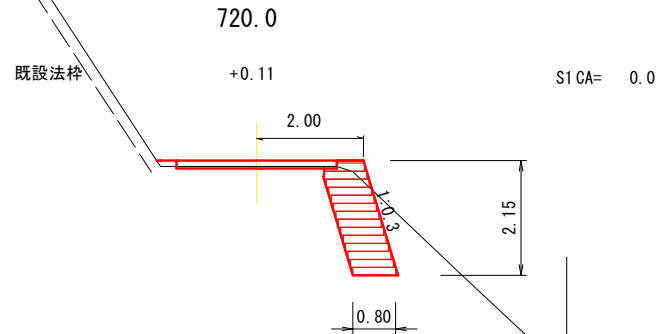
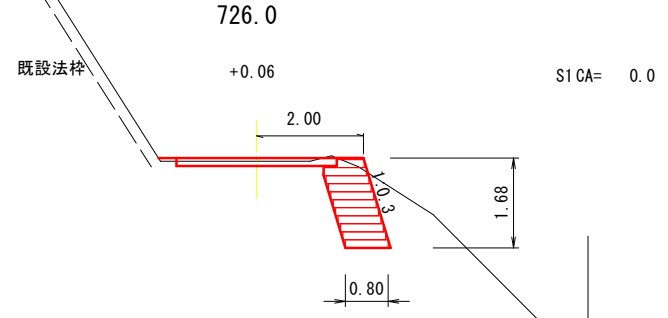
+0.26

S1 CA= 0.0
BA= 0.3

既設法枠



④テラスセル工 0.80



MC 19 772.3

+0.57

BA= 2.4

L=1.0 1:1.5

3.05

界

EC 19 781.1

+1.15

BA= 6.1

2.35 2.80

均しコンクリート t=15cm
 $(3.4+4.7)/2 \times 3.0 \times 0.15 = 1.82m^3$

1:0.30

1:0.50

2.0%

水叩きふとん 3枚

水叩きふとん 2枚

耐圧ポリエチレン管 (2200)
L=9.0m

H=4.0

H=4.0

780.0

BC 19 763.5

+0.31

S1CA= 1.2
BA= 0.4

L=2.6 1:0.8

3.10

界

植生マット
L=3.6

0.80

1.48

1:0.30

1:0.50

H=4.0

H=4.0

+1.75

BA= 9.6

2.10 2.95

778.0

+2.75

BA= 14.8

L=2.5 1:0.8

2.60

S1CA= 0.7
BA= 0.3

植生マット
L=3.5

1.81

1:0.30

1:0.50

H=4.0

H=4.0

1.85 3.05

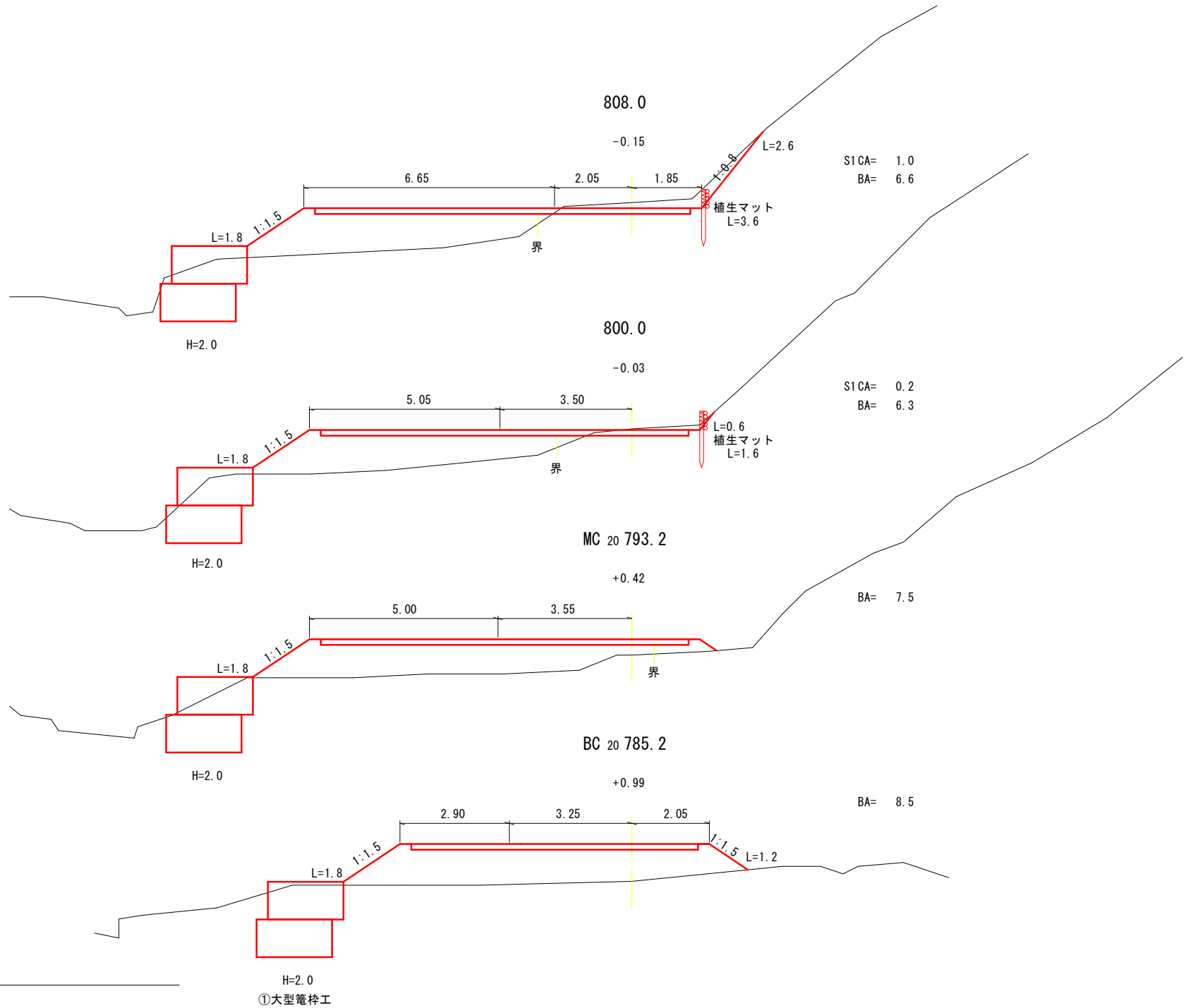
④テラスセル工 0.80

①コンクリート擁壁工
GW-L-I (c-s)

①コンクリートブロック積工
BW-L-N (c-s)

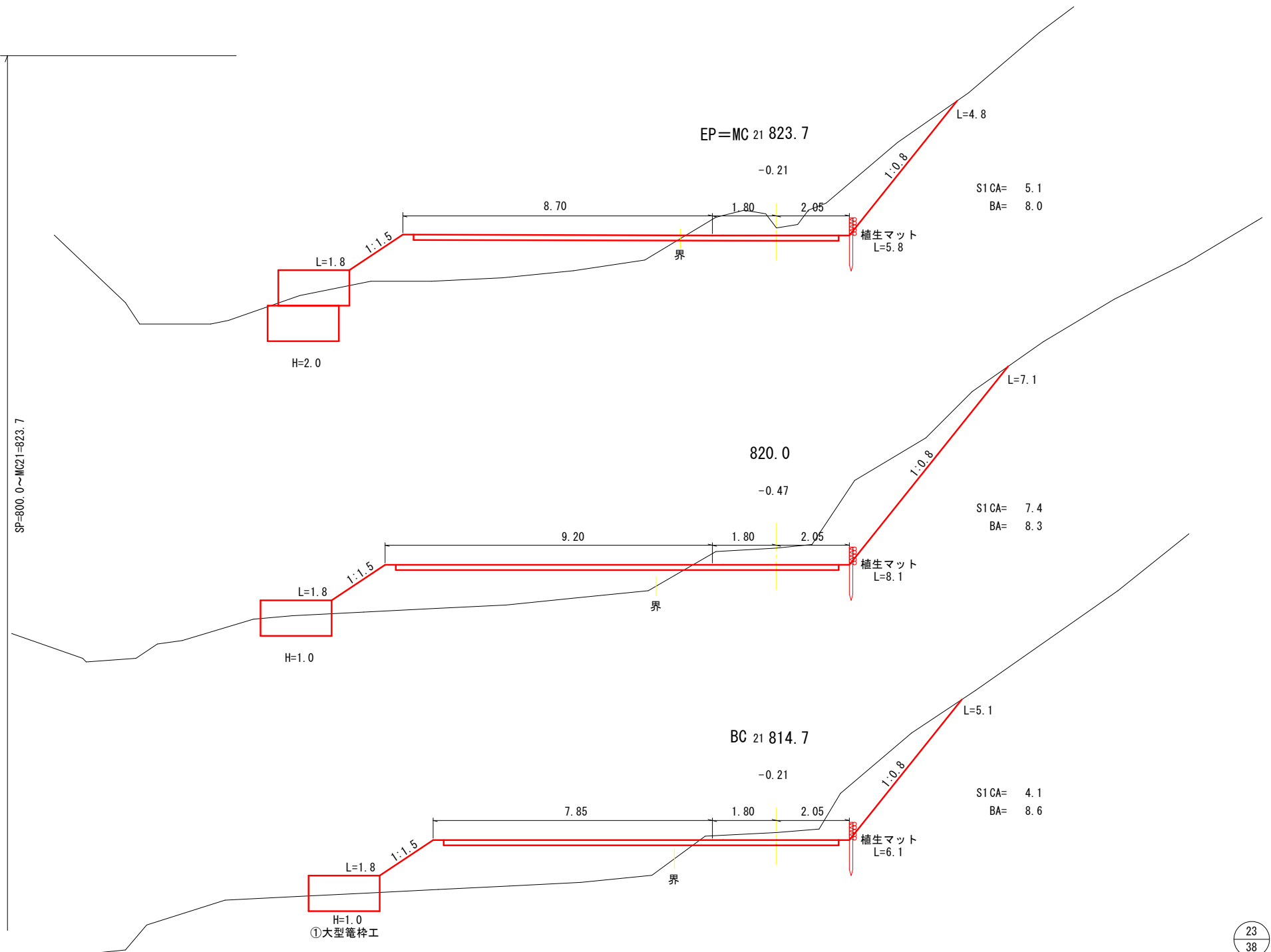
待避所兼林業用作業施設 L=23.7m

SP=800.0~MC21=823.7



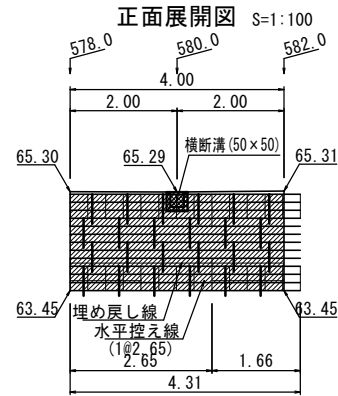
待避所兼林業用作業施設 L=23.7m

SP=800.0~MC21=823.7



3号テラセル工計画図

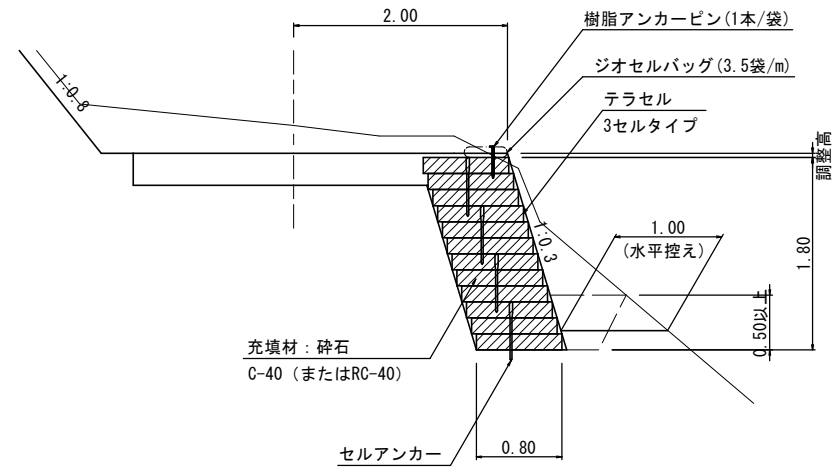
578.0~582.0



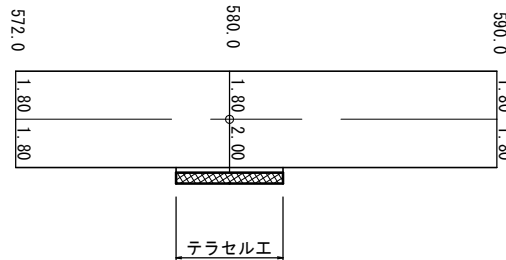
テラセル A=7.8m²
 砕石層 A=7.2m²
 (面積はすべて鉛直投影でCADによるデジタル計測とする。)
 ジオセルバッグ L=4.0m(天端計画長)

DL=60.00

標準断面図 S=1:50



位置図 S=1:200



※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。

特記事項	NETIS:KT-090023-VE (期間満了によりNETIS掲載終了)
盛土材料	<ul style="list-style-type: none"> セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力 $q = 52.48 \text{ kN/m}^2$ 以上 設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	<ul style="list-style-type: none"> 適切な排水処理を施すこと 予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと 施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
テラセル相互接続部	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし 2130N/15cm 以上とする
セルアンカー	<ul style="list-style-type: none"> 摩擦補助のため打設すること。(安定計算では考慮しない) 配置図に示す本数を打設すること。 壁面の連続性および一体化を促進することを目的とする。
テラセル表面シート	<ul style="list-style-type: none"> テクスチャー加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

凡例	
形状	種別
	テラセル
	砕石層
	セルアンカー

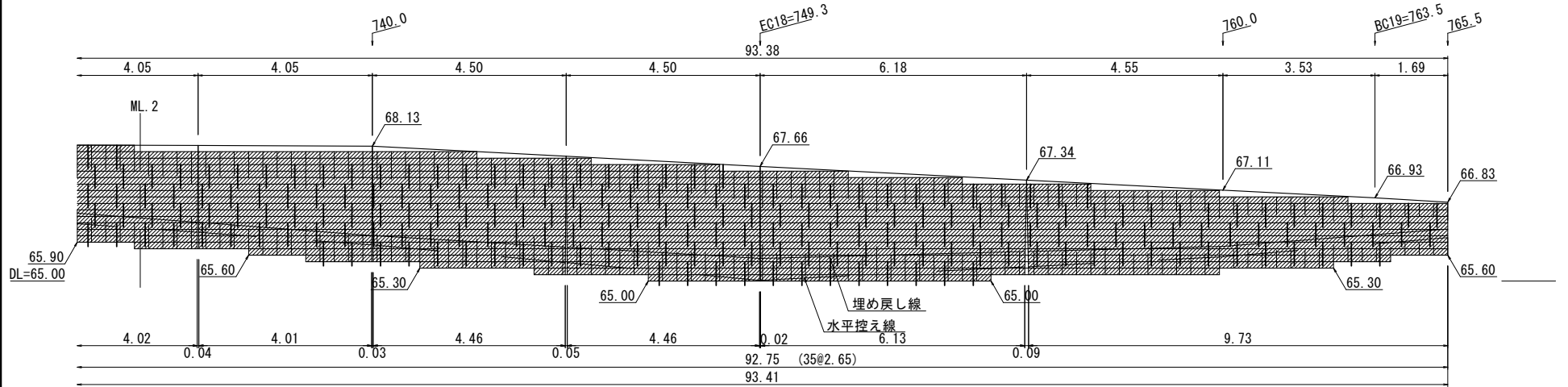
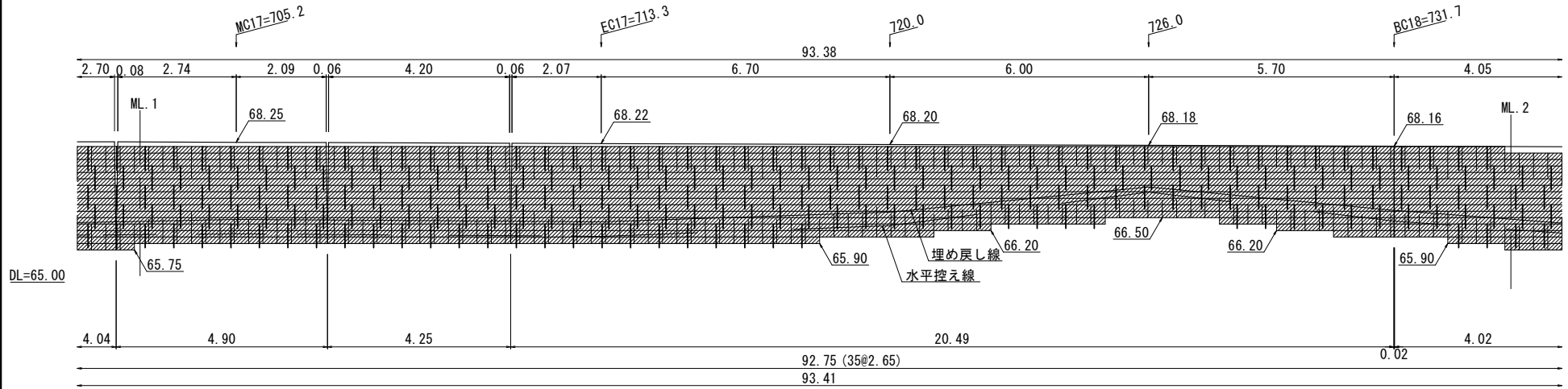
数量表			
項目	規格	単位	数量
壁面工	直高面積	m ²	8.2
	3セルタイプL2650×B800	枚	21
テラセル	セルロック	個	147
セルアンカー	□30×550	本	24
裏面排水材	セルドレーン (W=200mm, t=15mm)	m	5.9
ジオセルバッグ		袋	14
樹脂アンカーピン	□20×300	本	14
砕石	C-40 (またはRC-40)	m ³	6.3

※壁面工、裏面排水材5%、砕石10%のロス含む。

4号テラセル工計画図(2)

672.0~765.5

正面展開図 S=1:100



凡例	
形状	種別
	テラセル
	砕石層
	セルアンカー

数量表			
項目	規格	単位	数量
壁面工	直高面積	m ²	203.8
テラセル	3セルタイプL2650×B800	枚	513
	セルロック	個	3591
セルアンカー	□30×550	本	583
裏面排水材	セルドレーン (W=200mm, t=15mm)	m	83.5
ジオセルバッグ		袋	326
樹脂アンカーピン	□20×300	本	326
砕石	C-40 (またはRC-40)	m ³	170.3

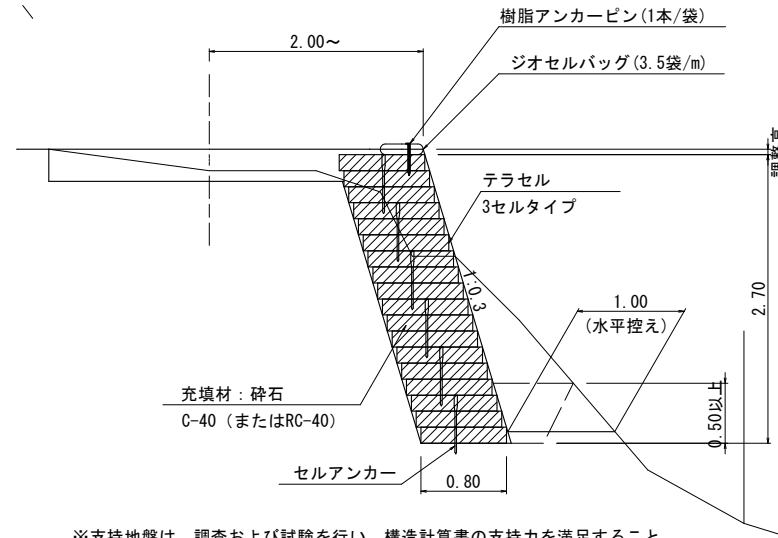
テラセル A=194.1m²
 砕石層 A=193.5m²
 (面積はすべて鉛直投影でCADによるデジタル計測とする。)
 ジオセルバッグ L=93.1m(天端計画長)

※壁面工、裏面排水材5%、砕石10%のロス含む。

4号テラセル工計画図(3)

672.0~765.5

標準断面図 S=1:50



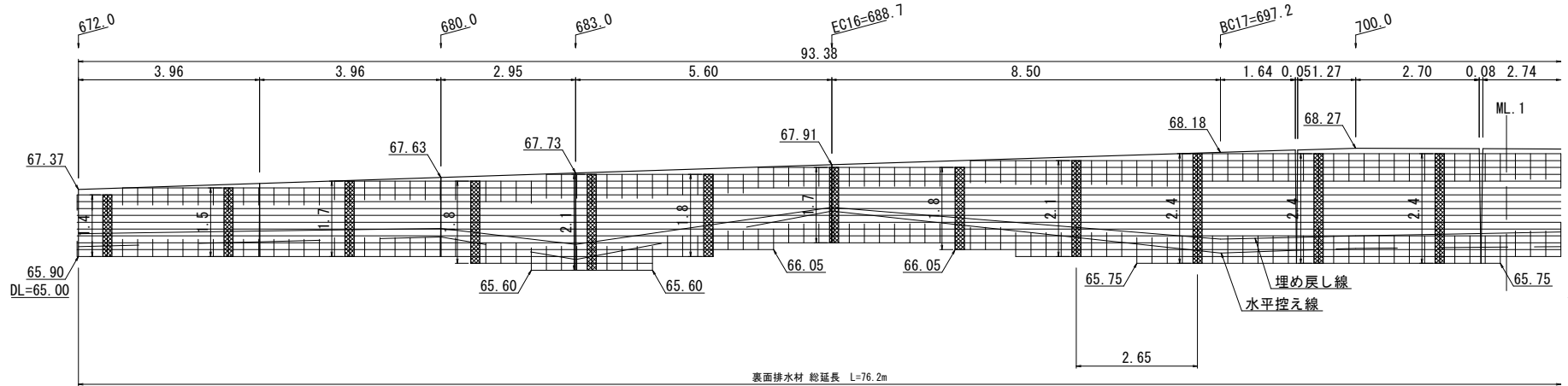
※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。

特記事項	NETIS:KT-090023-VE (期間満了によりNETIS掲載終了)
盛土材料	<ul style="list-style-type: none"> セル内の締固め密度管理は、乾燥密度で管理する場合は、最大乾燥密度の90% (路体) 以上を満足すること セル外の締固め密度管理は、発注機関で定める基準値を満足すること
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> ジオセル擁壁基礎地盤の支持力確認を行うこと ジオセル必要地盤反力 $q = 78.44 \text{ kN/m}^2$ 以上 設計条件通りの地層が掘削時に確認できない場合、支持力確認で必要反力が確保できない場合は、置換え、地盤改良、ジオセルマットレス工などで適切な処置が施された地盤とすること
排水工	<ul style="list-style-type: none"> 適切な排水処理を施すこと 予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと 施工中は、仮排水工を設けるなどジオセル擁壁部へ水を導かないように排水処理を行うこと
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること
テラセル相互接続部	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関で接続部の試験を実施している製品とする ジオセル製品の接続強度は、製品の溶着強度と同等以上とし 2130 N/15 cm 以上とする
セルアンカー	<ul style="list-style-type: none"> 摩擦補助のため打設すること。(安定計算では考慮しない) 配置図に示す本数を打設すること。 壁面の連続性および一体化を促進することを目的とする。
テラセル表面シート	<ul style="list-style-type: none"> テクスチャー加工の表面シートで耐候性を考慮し、色を黒とする

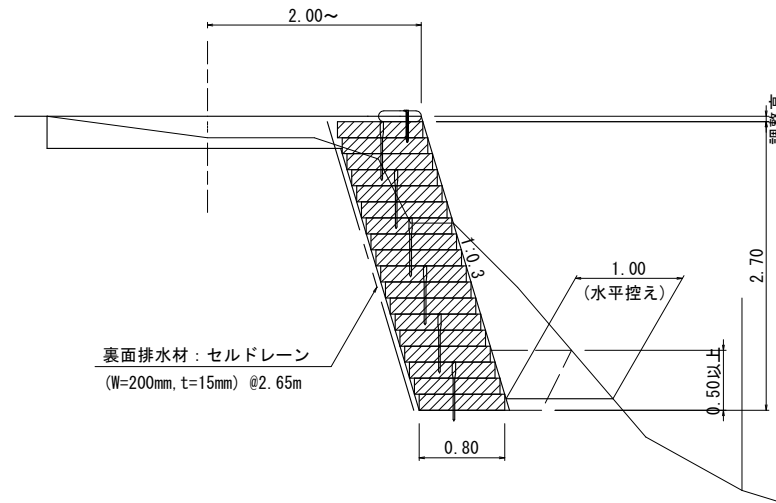
4号テラセル工排水計画図(1)

672.0~765.5

正面展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:50

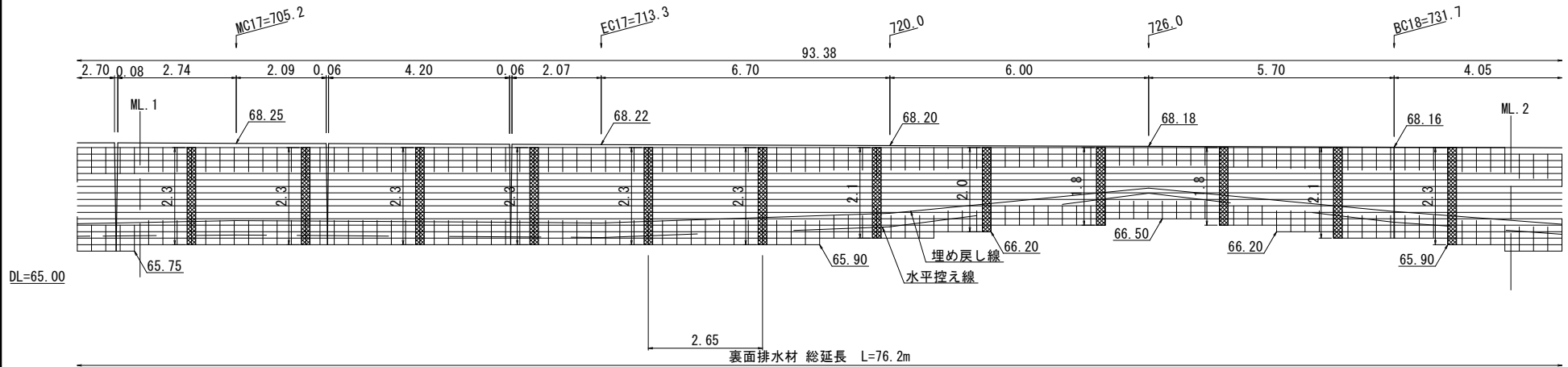


凡例	
形状	種別
	テラセル
	裏面排水材

4号テラセル工排水計画図(2)

672.0~765.5

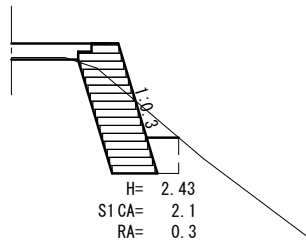
正面展開図 S=1:50



4号テラセル工横断面図

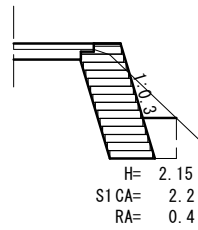
BC 17 697. 2

+0.26



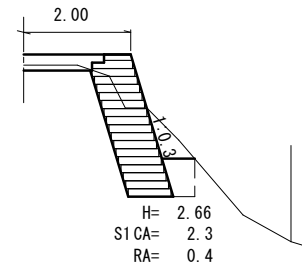
720. 0

+0.11



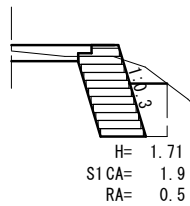
EC 18 749. 3

+0.20



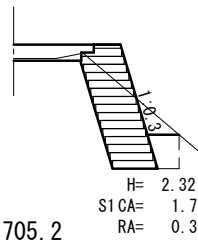
EC 16 688. 7

+0.11



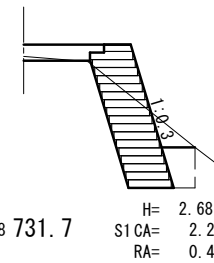
EC 17 713. 3

+0.26



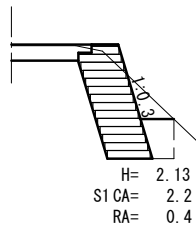
740. 0

+0.22



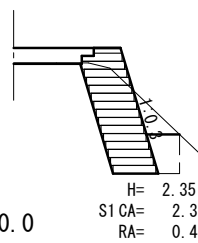
683. 0

+0.02



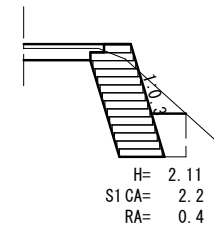
MC 17 705. 2

+0.28



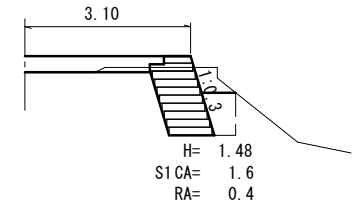
BC 18 731. 7

+0.08



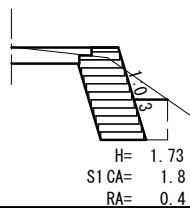
BC 19 763. 5

+0.31



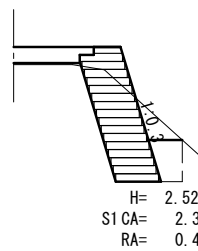
680. 0

-0.01



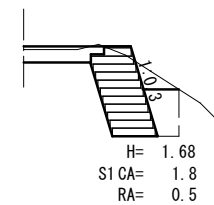
700. 0

+0.33



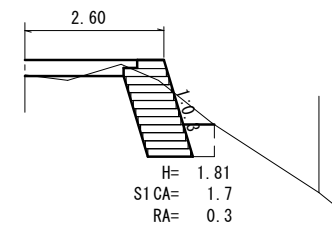
726. 0

+0.06



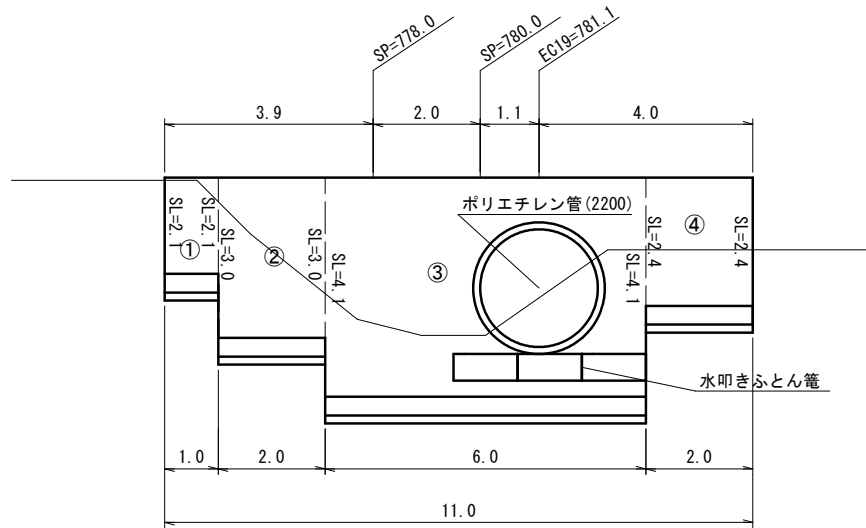
760. 0

+0.28



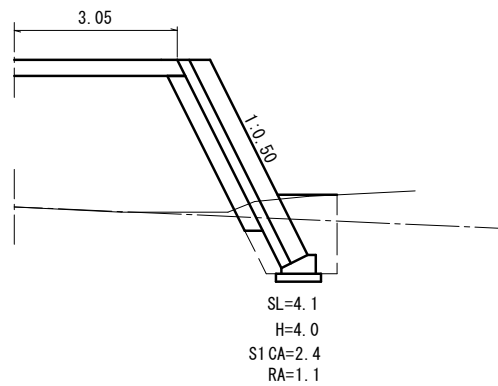
① コンクリートブロック積工

BW-L-N(c-S)



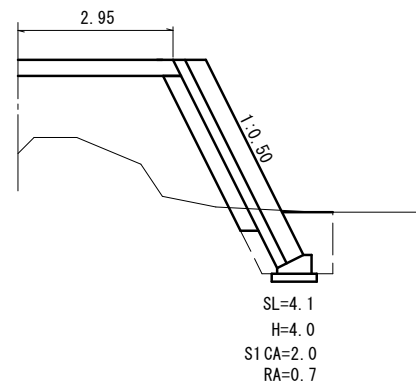
778.0

+2.75



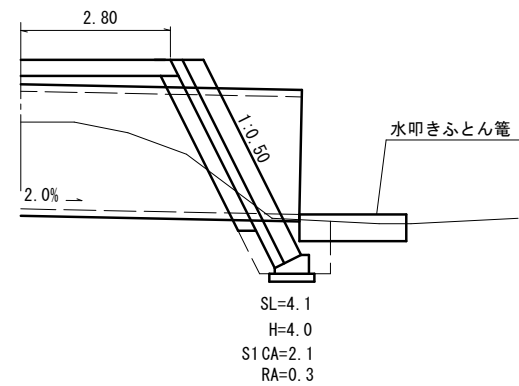
780.0

+1.75

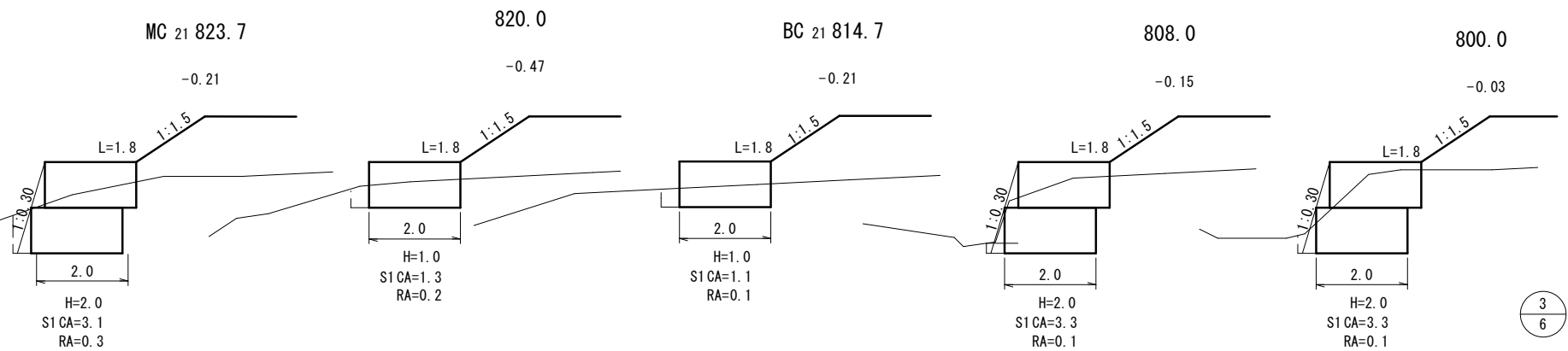
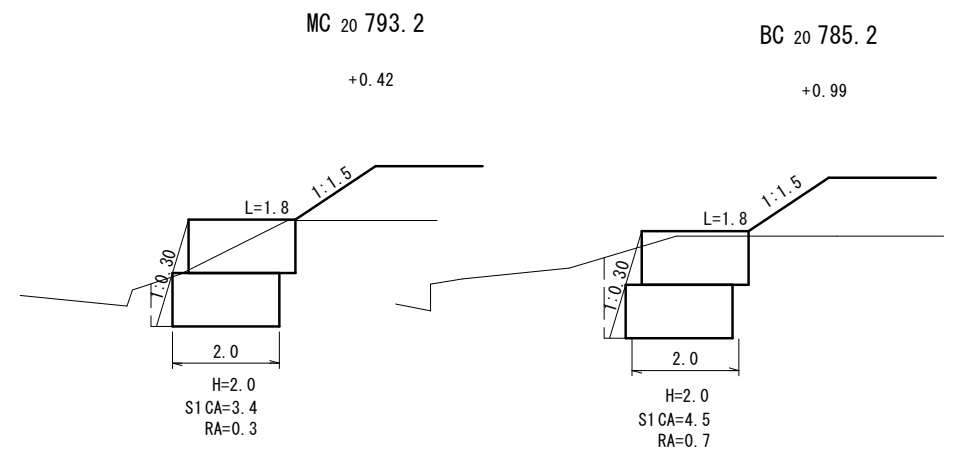
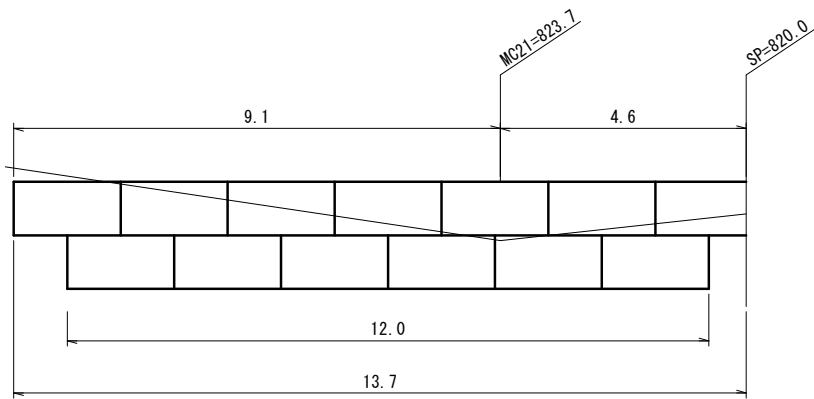
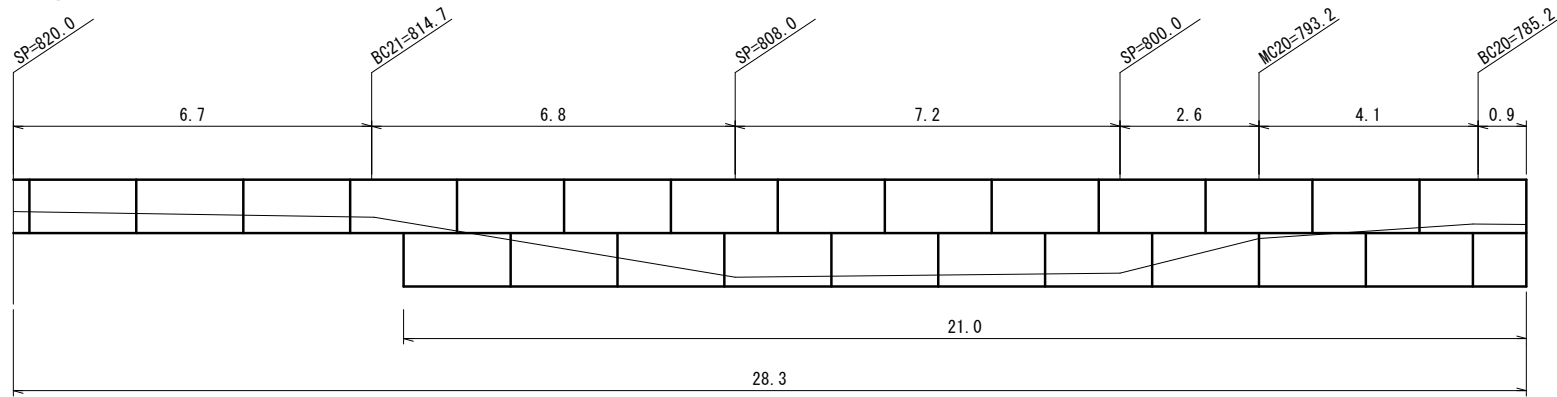


EC 19 781.1

+1.15



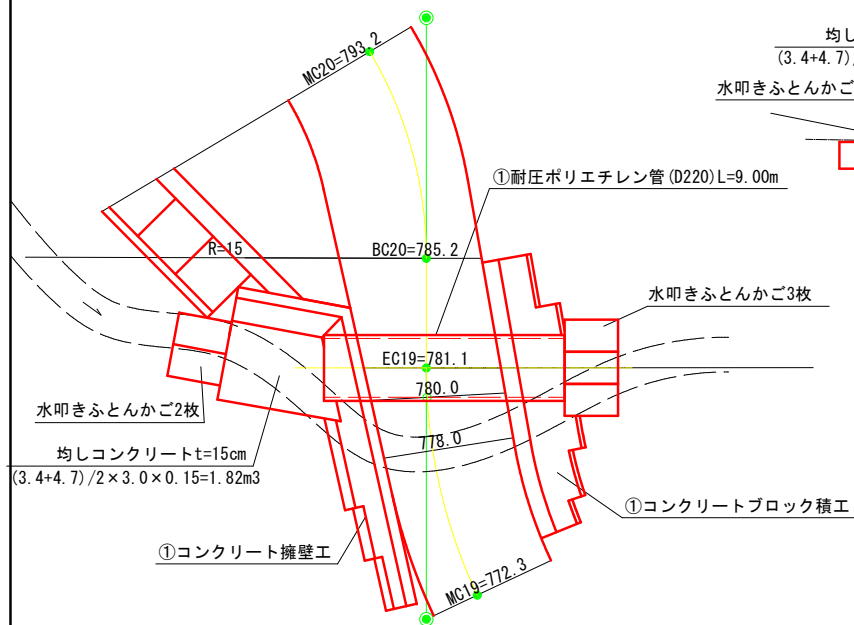
① 大型籠枠 L=75.0m



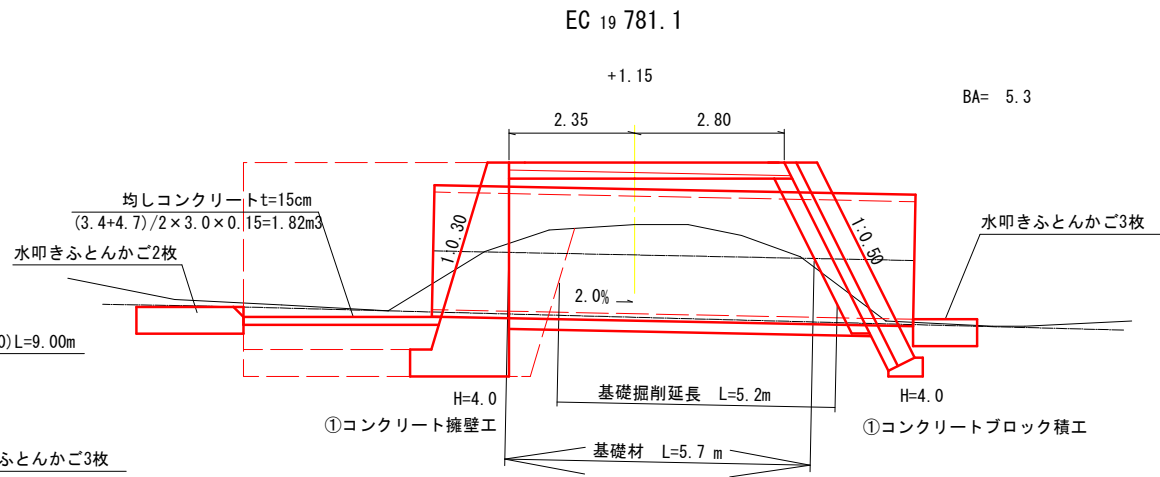
排水施設図

①耐圧ポリエチレン管 (D=220) L=9.00m

平面図 S=1:200

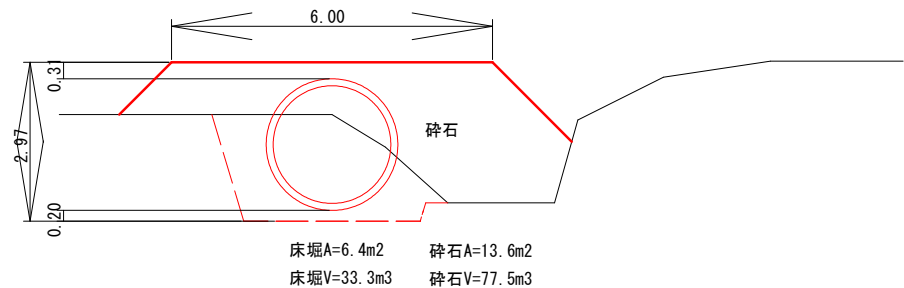


横断面図 S=1:100



断面図 S=1:100

(D=220cm)



床堀A=6.4m² 砕石A=13.6m²
 床堀V=33.3m³ 砕石V=77.5m³